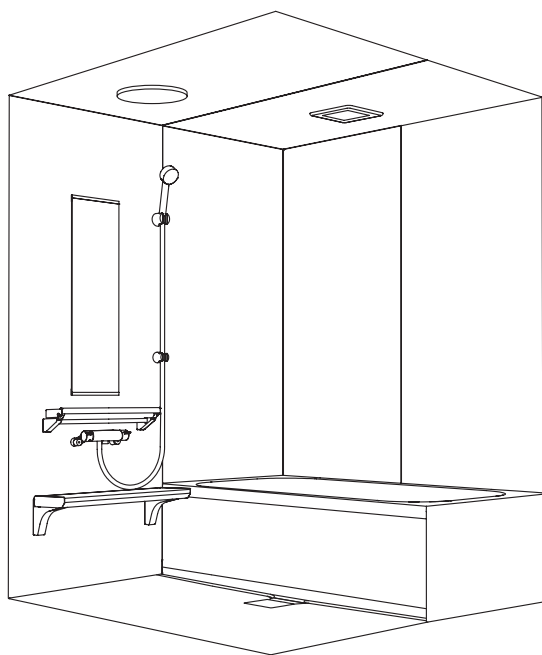


システムバスルーム 取扱説明書 保証書付

rakuvia ラクヴィア



このたびは、クリナップ商品をご購入いただきまして誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、商品を安全に長い間ご使用いただくために、注意事項やお手入れ方法についてまとめたものです。
ご使用前に必ずお読みいただき、以後も手近に保管し、ご活用ください。

- 1. ご使用の前に
 - 1.1. 各アイテムのなまえ 2～3
 - 1.2. お手入れスケジュール 4
 - 1.3. 定期的な点検 5
 - 1.4. 安全上の注意 6～11
 - 1.5. 重量に関する規定 12
- 2. システムバスルームの使い方
 - 2.1. システムバスルーム全体 . . . 14～16
 - 2.2. 足ピタフロア 16
 - 2.3. 排水口 17
 - 2.4. 排水口ヘアキャッチャー . . . 18～19
 - 2.5. 換気扇 19
 - 2.6. 浴槽 20～22
 - 2.7. 組みフタ・組みフタフック . . 23～24
 - 2.8. 浴槽エプロン 25
 - 2.9. 壁・天井 26
 - 2.10. ミラー 26
 - 2.11. 収納棚 27～29
 - 2.12. カウンター 30～31
 - 2.13. ドア 32～38
 - 2.14. FIX 窓 39
 - 2.15. 照明 39～40
 - 2.16. サポートバー・握りバー
スライドバー 41
 - 2.17. スムーズクッションチェア . . . 42
 - 2.18. シャワーホースフック 43
 - 2.19. マグネット製品(市販品) 43
- 3. アクセサリーパーツのご案内
 - 3.1. アクセサリーパーツのご案内 . . . 44
- 4. こんなときは
 - 4.1. 点検(工事店様向け) 46～47
 - 4.2. 主な故障の確認 48
 - 4.3. 仕様一覧 49

保証書 51



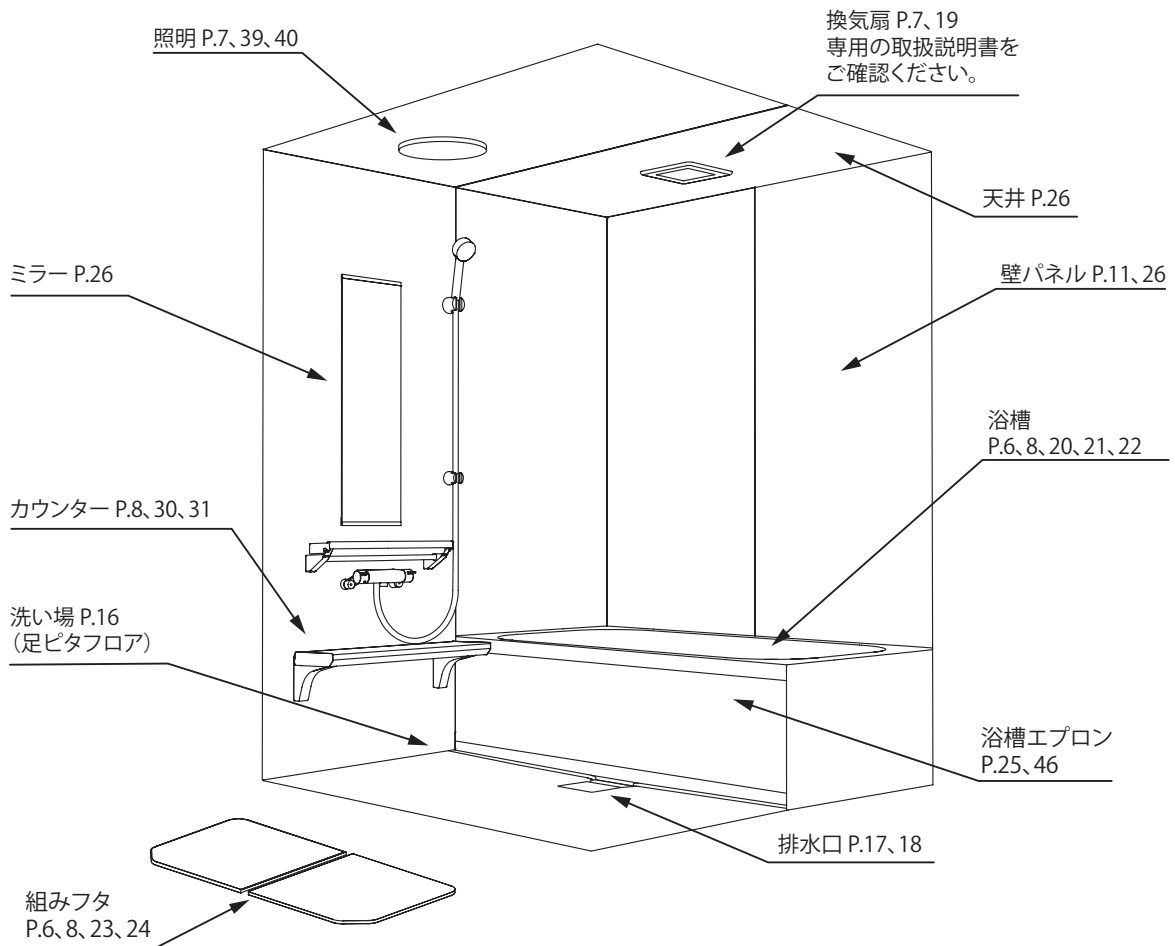
※左のコードは、下記の番号を意味しています。
商品に関する情報にはアクセスできません。



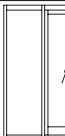
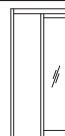

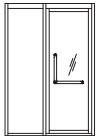
W103258000


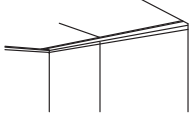

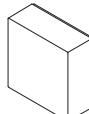
1. ご使用前に

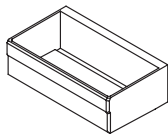
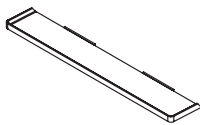
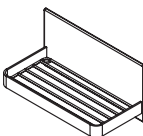
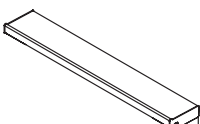
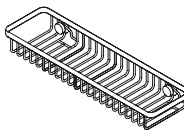
1.1. 各アイテムのなまえ

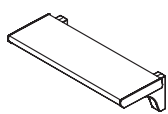
この取扱説明書においては、使用上支障のない範囲で略図を使用し、または一部実際の商品と異なる部分がございます。不明な点は、お手数ですが、裏表紙のクリナップカスタマーセンターまでお問い合わせください。下図は、1616型で壁パネルの2面を取ったものを示しています。お買い上げの商品・種類・付属部品の注文によって、内装の組み合わせや左右勝手・天井・窓などが下図と異なります。

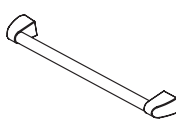


ド ア	折戸	開戸	片引戸	2枚引戸	3枚引戸
	 P.32 ~ 38	 P.32 ~ 38	 P.32 ~ 38	 P.32 ~ 38	 P.32 ~ 38
	ガラス面材開戸、FIX窓				
	 P.32 ~ 39				

照 明	ダウンライト	ライン照明	天井付け照明	壁付け照明
	 P.7,19	 P.7,19	 P.7,19	 P.7,19

収 納 棚	サイド収納棚	手元収納棚	マグネットシェルフ	スタイルシェルフ	メタルシェルフ
	 P.7,9,12,27,29	 P.7,9,12,27,29	 P.7,9,12,27,29	 P.7,9,12,27,28	 P.7,9,12,27,29

カ ウ ン タ ー	とってもクリンカウンター
	 P.8,30,31

握 り バ ー	握りバー
	 P.41

〈本取扱説明書に含まれないアイテム〉

- ・換気扇
- ・水栓金具
- ・浴室TV
- ・ジェットエアバス

上記のアイテムについては、専用の取扱説明書をご覧ください。

取扱い方法・お手入れに関する動画は、こちらの2次元コードからご覧ください。



※取扱い方法、お手入れの動画がない商品・部位もございます。
※利用いただく際に発生する通信料などは、お客様のご負担となりますので、予めご了承ください。

1.2. お手入れスケジュール

● お手入れスケジュールのすすめ

- ・ 毎日使うシステムバスルームは、こまめなお手入れが欠かせません。次のスケジュールを参考に、お客様の生活に合わせたお手入れ計画を立ててください。
- ・ 換気扇、水栓、その他関連機器商品について詳しい内容は、別冊の専用取扱説明書をご覧ください。

年間お手入れスケジュール例

期 間	お手入れ内容
毎日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浴槽：最後に入った人が、スポンジとシャワー（お湯）で汚れを落とす。 ・ フロア：カウンター付近や四隅を重点的にシャワー（お湯）で汚れを落とす。 ・ 壁／天井：壁や天井の交わる隅を重点的にシャワー（お湯）で汚れを落とす。 ・ 天井：ペーパーモップなどで表面の水滴を拭き取る。 ・ 排水口：ヘアキャッチャーに捕集した髪の毛を入浴ごとに取り除く。
週一度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浴槽／フロア：柔らかいスポンジに浴室用中性洗剤をつけて洗う。 ・ 排水口：部品を取り外して、中までしっかり洗う。 ・ 壁／天井：高い所はペーパーモップなどを使用し、浴室用中性洗剤で洗う。 ・ ドア：下部にたまった汚れを落とす。 ・ ミラー／収納棚：柔らかいスポンジに浴室用中性洗剤をつけて洗う。 ・ エプロン／カウンター：柔らかいスポンジに浴室用中性洗剤をつけて洗う。
月一度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドア：溝の汚れを落とす。 樹脂面材、ガラスは、ぬらした柔らかい布やゴムヘラで汚れを拭き取る。 ・ 換気扇：グリル（外カバー）を取り外して洗う。 ・ マグネットシェルフ：壁から外して洗う。
半年～年一度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水栓：ストレーナーを取り外して、汚れをとる。 ・ 照明：照明カバーのほこりを落とす。

MEMO

洗剤はお手入れに欠かせませんが、手荒れの原因にもなります。次の事項に気をつけてご利用ください。

- ① ゴム手袋を使う。
- ② 適量を使う。
- ③ 使う時間と回数を抑える。
- ④ 熱いお湯で洗わない。
- ⑤ ハンドクリームなどで保湿。

気づいたらすぐに

次のような場合、気づいたときにすぐに対処するようにしてください。

- ・ もらいサビがあった場合、すぐに対処してください。すぐであれば拭き取れます。
- ・ 浴槽の喫水線（お湯がたまった残りあと）ができたなら、すぐに浴室用中性洗剤で落としてください。
- ・ ミラーにくもりを感じたら、すぐにお手入れしてください。
- ・ 天井の表面に水滴がついている場合は、すぐにペーパーモップなどで拭き取ってください。水滴が残ったまま長時間放置すると水あかの原因となります。

注意

壁の上側や、天井を掃除するときは、洗剤が目に入らないように注意してください。

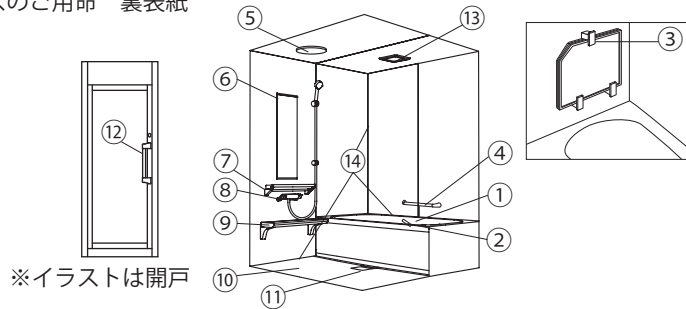
1. ご使用前に

1.3. 定期的な点検

定期的な点検のすすめ

商品は長期間ご利用いただくことで、経年劣化してきます。安全にお使いいただくために、定期的に水漏れ点検と安全点検を行ってください。水漏れ点検は月一度、安全点検は年一度が目安です。水漏れがあった場合、元栓や止水栓を締めてから、速やかにクリナップカスタマーセンターへご連絡ください。また、使用時に、部品が破損・脱落したり、ゆるんだりしている場合は、速やかにクリナップカスタマーセンターに修理を依頼してください。そのまま放置していると思わぬ事故の恐れがあります。

参照 アフターサービスのご用命 裏表紙



点検箇所	点検の種類	点検方法	症状	想定される被害
①浴槽	水漏れ点検	浴槽にひび割れがないか確認してください。	ひび割れ	水漏れによる家財等の破損および破損部接触によるケガ
②浴槽ハンドグリップ	安全点検	ハンドグリップを持った際にガタつきがないか確認してください。	ガタつき	外れることによるケガ
	安全点検	ハンドグリップのめっき部にはがれがないか確認してください。	めっき部のはがれ	はがれためっき部によるケガ
③組みフタフック	安全点検	組みフタフックのガタつきがないか確認してください。	ガタつき	外れることによるケガ
④握りバー	安全点検	握りバーやサポートバーを持った際にガタつきがないか確認してください。	ガタつき	外れることによるケガ
⑤照明カバー	安全点検	照明カバーが正常に取り付けられているか、ガタつきがないか、ひび割れがないか確認してください。	ひび割れ、ガタつき	落下によるケガおよび家財等の破損
⑥ミラー(鏡)	安全点検	ミラー(鏡)にひび割れがないか確認してください。	ひび割れ	破損部接触によるケガ
	安全点検	ミラー(鏡)を固定している金具にゆるみやガタつきがないか確認してください。	固定金具のゆるみ、ガタつき	落下によるケガおよび家財等の破損
⑦収納棚	安全点検	棚が正常に取り付けられているか、ガタつきがないか確認してください。	ガタつき	収納物の落下によるケガおよび家財等の破損
⑧水栓金具	安全点検	水栓金具を操作して温度調節が適正にできるか確認してください。	温度調節ができない	熱湯によるやけど
	安全点検	水栓金具全体やシャワーヘッド、操作レバーなどのめっき部にはがれがないか確認してください。	めっき部のはがれ	はがれためっき部によるケガ
	安全点検	シャワーフックのガタつきがないか確認してください。	シャワーフックのガタつき	外れることによるケガ
⑨カウンター	安全点検	ブラケットのガタつきがないか確認してください。	ブラケットのガタつき	外れることによるケガ
⑩洗い場フロア	安全・水漏れ点検	洗い場フロアにひび割れがないか確認してください。	ひび割れ	破損部接触によるケガおよび水漏れによる家財等の破損
⑪排水部品	水漏れ点検	マスフタを外して、排水部品のゆるみ、破損がないか確認してください。	排水接続部のゆるみ、破損	水漏れによる家財等の破損
⑫ドア・ハンドル FIX窓・ガラスドア	安全点検	ドアを開閉してガタつきがないか確認してください。	ガタつき	開閉不良による浴室内への閉じ込めおよび外れることによるケガ
	安全点検	スムーズに施錠、解錠ができるか確認してください。	カギの動きが固い	開閉不良による浴室内への閉じ込め
	安全点検	樹脂やガラスにひび割れがないか確認してください。	樹脂面材、ガラスのひび割れ	破損部接触によるケガ
⑬換気扇・ 換気乾燥暖房機	安全点検	カバーのガタつきや垂れ下がりがないか確認してください。	カバーのガタつき、垂れ下がり	落下によるケガおよび家財等の破損
	安全点検	運転中などに焦げ臭いにおいや異音がないか確認してください。	異臭、異音がする	火災や感電
⑭パッキン・シーリング	水漏れ点検	浴室内のパッキンやシーリングに切れや外れがないか確認してください。	切れ、外れ	水漏れによる家財等の破損

点検の結果、不備があった場合は、クリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

参照 アフターサービスのご用命 裏表紙

1. ご使用の前に

1.4. 安全上の注意

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結び付くものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



警告

この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡や重症を負う恐れがある内容」が記載されています。



注意

この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が生じる恐れがある内容」が記載されています。



禁止

この行為は禁止されています。



注意

この行為は、注意が必要です。



必ず実行

この行為を必ず実行してください。



警告

バスルーム全体



禁止

浴室内でお子様を遊ばせない。体調が優れない時や泥酔時の入浴はしない。

小さなお子様や、お身体の不自由な方の一人での入浴はおやめください。おぼれたり、やけどやケガをする恐れがあります。



禁止

浴室環境に適合しないものは、浴室に持ち込まない。

電気製品の場合、感電の恐れがあります。その他の製品も故障につながる恐れがあります。



禁止

分解、修理、改造をしない。

感電や故障の原因になることがあります。



禁止

ガタつき・割れ・故障が生じた場合は、そのまま使用しない。

水漏れ・火災・ケガの恐れがあります。

浴槽

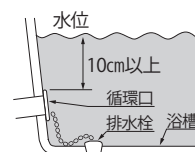


禁止

追い焚きをする場合は、空焚きをしない。

水位が低いと空焚きになり、浴槽を傷めたり、機器の故障・火災につながる恐れがあります。

排水栓が確実に止水できていることを確認したうえで、循環口より 10cm以上水をためてください。



組みフタ



禁止

体重をかけない。

おぼれたり、やけどやケガをする恐れがあります。

収納棚



必ず実行

マグネットシェルフをペースメーカーなどの電子医療機器の近くで使用する際は、ペースメーカーの取扱説明書または担当医師に確認を行う。

ペースメーカーが正常に動かなくなり、故障する恐れがあります。

照明・換気扇



禁止

照明にタオルなどを掛けない。

過熱して、火災の原因になる恐れがあります。



禁止

照明のカバーを外して使ったり、直接水をかけない。

器具本体が割れてケガをしたり、感電の恐れがあります。



必ず実行

照明や換気扇など機器類のお手入れは、必ず電源（ブレーカー）、電源スイッチを切り、乾いた手で行う。また、お手入れ後は、器具を完全に乾かし、元どおりにしっかりと取り付ける。

感電やケガをする恐れがあります。

**注意**

バスルーム全体



禁止

成分表示のない洗剤類、浴室以外の用途である洗剤類は使用しない。

浴室本体が傷み、水漏れ事故や故障の原因になります。



禁止

排水口に薬品・強酸系洗浄剤（トイレ洗浄剤など）・漂白剤・サラダ油・タイル洗浄剤・有機溶剤（シンナーなど）および芳香族化合物（クレゾール、クレオソートなど）を流さない。

排水部分が損傷して、水漏れの原因になることがあります。



禁止

排水口に60℃以上のお湯を流さないようにする。

排水管を傷める恐れがあります。



禁止

組み込まれている機器、水栓などについては、それぞれの取扱説明書および商品本体に表示されている事項を守る。また、市販の機器（サウナ、乾燥機）は取り付けない。

使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になることがあります。



必ず実行

器具の位置を変えたり、新しく取り付けるときは、必ず販売店などに相談する。

誤った取り付けをすると、思わぬ事故や水漏れの原因になることがあります。

1.4. 安全上の注意

⚠ 注意

バスルーム全体



必ず実行

洗剤・殺虫剤・防腐剤・その他薬品類を浴室内で使う時は、それぞれの容器などに表示されている事項を守る。

使い方を誤ると、人体に悪影響を及ぼしたり、浴室本体や機器類が傷み、水漏れ事故や故障の原因になります。



注意

浴室内で浴室用スリッパや踏み台を使用する時は、足元に十分注意する。

滑ってケガをする恐れがあります。

浴 槽



禁止

浴槽の縁やハンドグリップに乗らない・立たない。

滑り落ちてケガをする恐れがあります。



禁止

浴槽に出入りするとき、半身浴座面を踏まない。

滑り落ちてケガをする恐れがあります。



必ず実行

浴槽に入るときは、浴槽の縁や握りバーに手を添えて浴槽の中央付近をまたぐ。

浴槽の出入りの際、足を滑らせたり、足元側、背もたれ側の斜めの部分で転んでケガをする恐れがあります。



必ず実行

市販の浴槽用手すりを購入後取り付ける際は、浴槽が対応しているか確認する。

取付形状が合わず、浴槽を傷めたり、手すりが外れてケガをする恐れがあります。



禁止

浴槽内の側面を蹴るなど、衝撃を与えない。

浴槽が破損してケガをしたり、漏水になる恐れがあります。



注意

シェルフ側を背にして入浴するときは、頭上や背中に注意する。

頭や背中をぶつけてケガをする恐れがあります。



注意

浴槽内は滑ることもあり、入浴剤の種類によっては、さらに滑りやすくなる場合があるので注意する。

ケガをする恐れがあります。



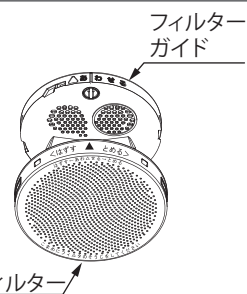
禁止

追い焚きアダプターに体重をかけない。

破損してケガをしたり、漏水になる恐れがあります。



追い焚きアダプターのフィルターガイドは絶対に緩めない。
水漏れの原因になります。



お湯をためているときや追い焚きをしているときは、追い焚きアダプター付近が熱くなるので注意する。
やけどをする恐れがあります。



必ず実行

石けん類・湯あか・入浴剤が付着しているときは、放置せず洗い流す。
滑ってケガをする恐れがあります。
洗剤・カラーリンス、飛び散ったシャンプー・リンス・石けんなどを放置すると、表面の荒れ・変色・変形・割れ・水あかや汚れの付着・カビ発生などの原因になります。

組みフタ・組みフタフック



禁止

組みフタフックに体重をかけたり、ぶら下がらない。
破損やケガをする恐れがあります。



必ず実行

組みフタは両手でしっかり持つ。
手が滑って落下し、ケガをする恐れがあります。



必ず実行

組みフタは必ず浴槽に合ったものを使用する。
フタが外れてケガややけどをする恐れがあります。



注意

組みフタをフックに収納、またはフックから取り出す際は、注意する。
落下してケガをする恐れがあります。

収納棚



禁止

収納棚に無理な荷重をかけない。
収納棚は握りバーではありません。手をかけたりすると収納棚が破損したり、落下してケガをする恐れがあります。また、物が落下するなど大変危険です。

カウンター



禁止

カウンターに無理な荷重をかけない。
カウンター天板やブラケットに乗ったり、手をついたりすると破損したり、外れてケガをする恐れがあります。

ドア



禁止

ドアは、勢いよく開閉しない。
手や足をはさみこんでケガをする恐れがあります。

1.4. 安全上の注意

注意

風呂イス



風呂イスの上に立たない。
転倒してケガをする恐れがあります。

タオル掛け



タオル掛けにはぶら下がらない。
破損してケガをする恐れがあります。

物干しバー



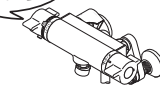
ぶら下がったり、体重をかけたり、掛けた洗濯物を引っ張ったりしない。
破損してケガをする恐れがあります。

水 栓



混合水栓は必ず水を先に出して温度を確かめて使う。
サーモ水栓の場合は、必ず温度調節を行う。また、
水栓全体・吐水口が熱いことがあるので注意する。
水栓および熱湯でやけどをする恐れがあります。

温度調節を
してから



水栓に体重をかけたり、ものを落としたりしない。
こわれたり、水漏れの原因になります。



吐水操作は無理な力を加えず、ゆっくり行う。
過度な力や急な操作は、ウォーターハンマー（衝撃音）が発生し、配管からの水漏れにより、家財などをぬらす拡大損害の恐れがあります。



寒冷地仕様水栓の場合、寒い日には凍結が予想されるので、必ず水抜きを行う。
水栓本体や配管がこわれる恐れがあります。水抜き方法については専用の取扱説明書を参照してください。

シャワーヘッド・シャワーフック



シャワーヘッド・シャワーフックにはぶら下がらない。
破損してケガをする恐れがあります。

マグネット製品 (市販品)



必ず実行

マグネット製品 (市販品) をペースメーカーなどの電子医療機器の近くで使用する際は、ペースメーカーの取扱説明書または担当医師に確認を行う。

ペースメーカーが正常に動かなくなり、故障する恐れがあります。

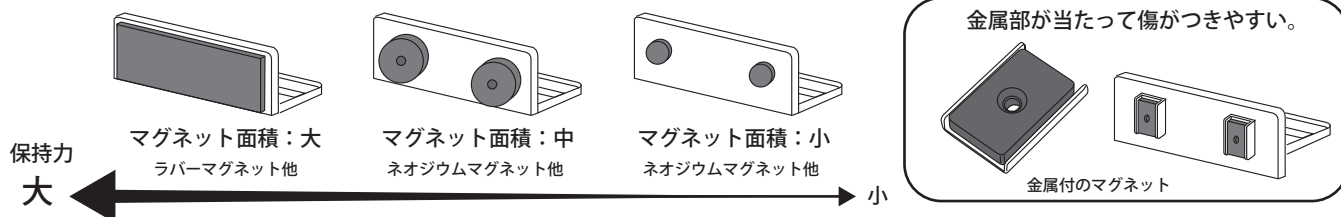


注意

マグネット製品を取り付ける場合は、パネル部に傷がつきにくい製品 (ラバー製マグネット製品を推奨) を使用する。

傷などの損傷、サビや破損の原因になります。

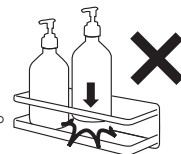
MEMO 傷がつきにくく、保持力の高いため、下記のようなマグネットを推奨しています。



必ず実行

マグネット製品を使用する前に、収納物に対して保持力が十分かを確認する。

- ・マグネット製品に設定されている耐荷重や使用方法を守ってご使用ください。
- ・マグネット製品に記載されている耐荷重よりも性能が落ちる場合がありますので、ご使用前に必ず、収納物を置いても落下しないかをお客様ご自身でご確認ください。
- ・取り付ける場所によって (パネル表面の汚れ、パネルの継ぎ目や凹凸などがある場所、ぬれた場所など) 保持力が弱まる場合があります。
- ・耐荷重制限内でも、大きな衝撃や勢いをつけて物を置くことにより、製品が落下することがあります。



※マグネット製品の落下により、ケガや製品の破損、家財の損傷の原因になります。



必ず実行

マグネット製品を取り付ける際は、取り付ける面をよく拭いてから取り付ける。

ぬれていたり、汚れがついたままマグネット製品を取り付けると、保持力が弱まり、落下の恐れがあります。



禁止

マグネット製品をパネルに擦りつけたり、トレーの角など鋭利な部位を当てない。また、破損したトレーやさびた製品を使用しない。



傷などの損傷、サビや破損の原因になります。

1.5. 重量に関する規定



注意

収納棚 / 物干しバー



禁止

収納物をつめ込みすぎない。

破損、変形の原因になります。



必ず実行

収納棚には収納物を均等に載せる。

重量が限度を上回ったりかたよったりすると、破損につながったり、載せているものが落ち、ケガをする恐れがあります。



必ず実行

物干しバーには衣類などを均等に掛ける。

重量が限度を上回ったりかたよったりすると、破損につながったり、掛けているものが落ち、ケガをする恐れがあります。

各アイテムの耐荷重は、下記の重さを目安としてご使用ください。

アイテム	部位	※耐荷重
収納棚	サポートバー用シェルフ 1 段	10 kg
	手元収納棚	10 kg
	マグネットシェルフ	2 kg
	スタイルシェルフ 1 段	10 kg
	サイド収納棚 1 段	10 kg
	メタルシェルフ	10 kg
物干しバー	ランドリーパイプ	10 kg

※耐荷重とは、ボトルのポンピングなど、収納物にかかる負荷加重を含みます。

MEMO 0.5kg= シャンプーボトル 1 本が目安です。

2. システムバスルームの使い方

2.1. システムバスルーム全体

● 使用上の注意（お使いになる前に）

● はじめて使用する前に



必ず実行

浴室全体を柔らかい布やスポンジなどを用いて、浴室用中性洗剤で掃除する。

硬いスポンジやタワシなどを使用すると、部位によっては傷がつく恐れがあります。取付・設置やその他設備工事などで、汚れが付着している恐れがあります。その際、リフォーム工事直後などは、シーリング部が完全に乾いていない場合がありますので、シーリング部に触れないように気をつけてください。



必ず実行

一度、給湯・追い焚きをし、その後、浴槽内を掃除し、配管などに残っている鉄粉などをよく除去する。

鉄粉が付着すると、浴槽表面の変色や、排水器具などにサビが発生する恐れがあります。



必ず実行

接続する追い焚き釜（追い焚き機能付給湯機）は、下記の機種は使用しない。

下記機種の場合、高温のため浴槽が変形・変質する恐れがあります。

- ・ 追い焚きする際に温度調節ができない自然循環式風呂釜
- ・ 貯湯式給湯機（電気温水器、ソーラー温水器など）
※温度調節機能付の浴槽側水栓を使用し、80℃以下で給湯する場合は対応可能です。
- ・ 高温（約80℃以上）の差し湯を行う給湯機

● 毎日の使用



禁止

固形または粉末の塩素系の洗浄剤（ヌメリ取り剤など）・漂白剤を使用したり、近づけたりしない。

水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレスなどの金属やゴムの腐食・劣化およびサビを発生させる恐れがあります。保管の場所や方法に十分注意してください。その他の洗浄剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでお使いください。



禁止

壁・天井への穴開けやクギ打ちはしない。また、重いものや硬いものを落としたり、ぶつかけたりしない。

傷やへこみ、場合により水漏れや浴室がこわれる原因になります。



禁止

火気を持ち込まない。また、化粧品などの薬品、ヘアピンやカミソリなどのサビやすいものを放置しない。

浴室の変質・変色・もらいサビの恐れがあります。



注意

ビンや陶器などの割れ物を持ち込む際は注意する。

割れてケガをする恐れがあります。



禁止

サウナやスチーム洗浄機など、温度上昇する機器類を浴室で使用しない。

浴室内が高温となり、浴室の変形・変質の恐れがあります。



禁止

浴槽パンを設定していない場合は、浴槽エプロンの点検口は外さない。

浴槽エプロンの点検口は点検などのために取り外せるようになっていますが、日常のお手入れで取り外す必要はありません。もし、ご自身で取り外してしまった場合は、元どおりに取り付けないと、水漏れの原因になりますので気を付けてください。

※浴槽パンを設定していない場合の点検口の取り外しは、P.46～47を参照し、専門業者にお任せください。

**毛染めを行う場合は、新聞紙などを敷く。**

必ず実行

浴室に汚れが付着する恐れがあります。

**毛染め剤やクレンジング剤などの化粧品の使用後は、すぐに洗い流す。**

必ず実行

浴室内の変色・劣化の原因になります。

**部品の色（特に黒色などの濃色）によっては水あかなどの汚れが目立ちやすい場合があるので、汚れや水分をこまめに拭き取る。**

必ず実行

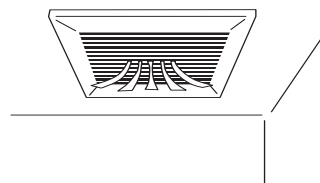
水あかなどが固着し、通常のお手入れで落ちないときは、クエン酸がおすすめです。クエン酸を使用して清掃する場合、以下の注意点を守って行ってください。

- ・クエン酸は弱酸性のため、アルカリ性の汚れ（水あか、石けんカス）を中和して落とす効果があります（汚れの程度によっては落ちないことがあります）。
- ・200mlの水にクエン酸を小さじ1杯程度混ぜて使用します。使用後はよく洗い流し、水滴が残らないように湿らせた布で拭き取ってください。
- ・使う前に目立たない所で変色などの異常がないことを確認してください。
- ・強くこすると傷がつく恐れがあります。

清潔に保つために**カビの発生を防ぐ**

悪臭やカビの発生を少なくするため、入浴後は必ず組みフタをして、換気扇または換気乾燥機を30分以上回し、換気してください。

- ・日ごろの浴室内の換気・乾燥。
- ・目地のこまめなお手入れ。 など

**注意**

- ・目地の汚れ（特にフロア・浴槽周り・カウンター周り）を放置しないでください。汚れをそのままにしておくと、カビが生えやすくなります。こまめな清掃や換気を心掛けてください。
- ・カウンター下および周辺、洗い場外周部（細かい溝がない部分）などは乾きにくい場合があります。浴室内の気密性が高いため、温度や湿度、使用方法や浴室周辺の環境によっては、浴室内の壁や天井などに結露が発生することがあります。換気を心掛けてください。

悪臭・害虫を防ぐ

- ・こまめな清掃を心掛けてください。
- ・排水口のごみを取り除いてください。
- ・排水トラップに水を張ってください。

水栓などのつやを出す

- ・水分を拭き取ってください。
 - ・ミシン油、カーワックスなどで磨いてください。
- ※水栓以外には使用しないでください。



禁止

下記のお手入れ用品・薬品は、使わない。

浴室を傷める恐れがあります。

表面のつやがなくなります。 <ul style="list-style-type: none"> ・トイレ洗浄剤などの強酸系洗浄剤 ・タイル洗浄剤・シンナーなどの有機溶剤 ・漂白剤 	傷になったり、表面のつやがなくなります。 <ul style="list-style-type: none"> ・硬いタワシ・硬いブラシ ・研磨材を含んだクレンザー
---	--

2. システムバスルームの使い方

2.1. システムバスルーム全体

● お手入れのしかた（週に一度以上はお手入れを）

柔らかい布またはスポンジに浴室用中性洗剤をつけ、汚れを落とし、水で完全に洗い流します。特に汚れがひどい場合は、柔らかい布に浴室用塩素系洗剤をつけ、汚れやカビを落とし、水で完全に洗い流します。

注意

塩素系洗剤を使用する場合、浴室内を換気し、ゴム手袋や保護メガネを着用して使用してください。塩素系洗剤で長時間部品をぬらしたり、塩素系洗剤でぬれた布を部品の上に放置したりしないでください。変質・変色の恐れがあります。

〈お手入れに必要なもの〉



2.2. 足ピタフロア

● 使用上の注意



一週間に一度以上清掃する。

必ず実行

汚れや細かいゴミなどがたまっていると、フロアの乾燥性能や滑り止め性能を発揮しにくくなります。



フロアに付着した石けん類や洗剤などは、放置せずすぐに洗い流す。

必ず実行

洗剤・カラーリンス、飛び散ったシャンプー・リンス・石けんなどを放置すると、表面の荒れ・変色・変形・割れ・水あかや汚れの付着・カビ発生などの原因になります。

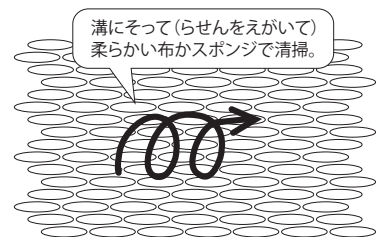
● 使い方

使用後はフロアを乾燥させるために換気扇または換気乾燥機（換気モード）の連続運転をしてください。

● お手入れのしかた

柔らかい布またはスポンジに、浴室用中性洗剤をつけ、溝にそって（ぐるぐるとらせんをえがいて）石けんカス、汚れ、細かいゴミなどの汚れを落とし、水で完全に洗い流してください。また、毎日の入浴後には以下の点もご注意ください。

- 体を洗った後、フロアの端の方に残る石けん・シャンプーの泡をシャワーで流してください。
- こぼれたシャンプーやリンスもそのままにしないで、シャワーで流してください。
- 固形石けんを使用する際は、使用後石けん残りや削れたかたまりが残らないように、シャワーで流してください。



2.3. 排水口

● 使用上の注意



必ず実行

備え付けの排水マスフタ、ヘアキャッチャーは、必ず取り付けて使う。
また、入浴ごとに髪の毛などを取り除く。

転んでケガをしたり、排水のつまりや悪臭の原因になります。



必ず実行

排水口の掃除を行う際は、厚手のゴム手袋などをして行う。

手が滑ってケガをする恐れがあります。



必ず実行

排水トラップは、水を張っておく。

水がなくなると排水管からの悪臭や害虫の侵入などの悪影響があります。
また、クリンヘアキャッチャーの場合、水がなくなると排水口からの塩素ガスにより、サビが発生する恐れがあります。

● 使い方

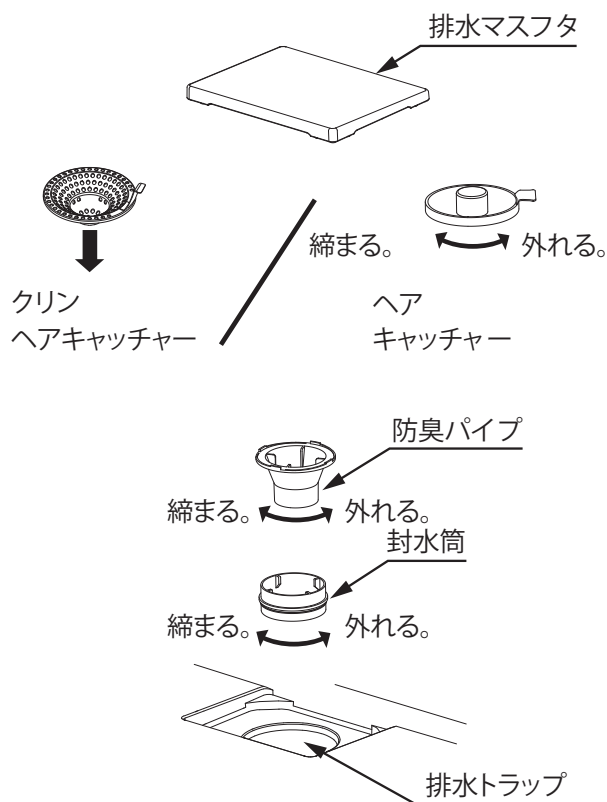
備え付けのヘアキャッチャーと排水マスフタは取り付けた状態でお使いください。

● お手入れのしかた

排水口は、防臭パイプ・封水筒を取り外し（下図参照）、

スポンジで汚れを落としてください。

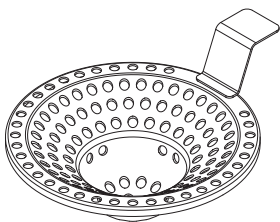
お手入れが終わったら元どおりにしっかりと取り付けてください。



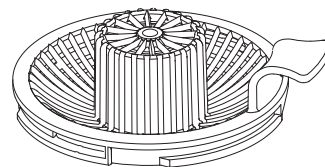
2. システムバスルームの使い方

2.4. 排水口ヘアキャッチャー

〈クリンヘアキャッチャー〉



〈ヘアキャッチャー〉



● 使用上の注意



禁止

クリンヘアキャッチャーはヘアピンなどの金属を流したまま放置しない。

もらいサビを引き起こし、腐食して穴が開く恐れがあります。



禁止

研磨材入りの洗剤・研磨粒子入りの洗剤（不織布など）や金属タワシなどで表面をこすらない。また、カミソリや硬く鋭利なもの・砂などを押し付けたり落としたりしない。

傷がつく恐れがあり、汚れが取りづらくなります。



禁止

髪の毛除去時に、フロアなどにたたきつけない。

たたきつけたものに傷がつきます。



禁止

クリンヘアキャッチャーに洗剤をつけて、長時間放置しない。

変色の恐れがあります。



禁止

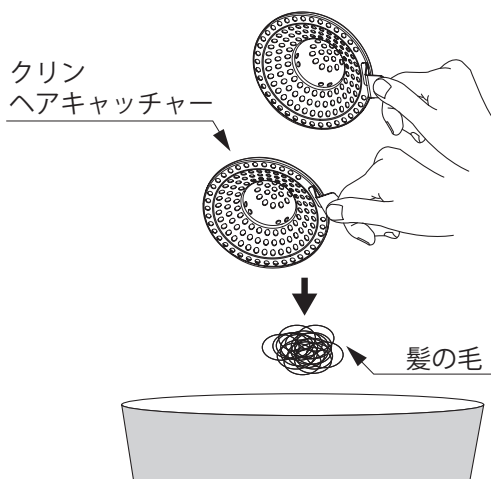
成分にケイ酸塩（オルトケイ酸ナトリウム）と成分表示している洗剤は使用しない。

万一、誤って使用した場合は、フロアや浴槽および排水口本体などに残らないよう水できれいに洗い流してください。

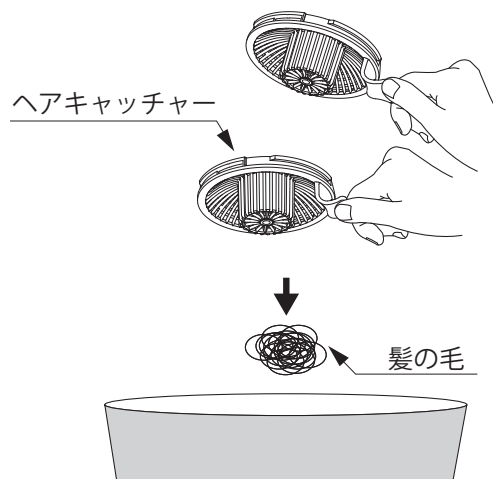
● 使い方

ヘアキャッチャーにまとまった髪の毛は、ヘアキャッチャーをひっくり返して振ると、簡単に取ることができます。

〈クリンヘアキャッチャーの場合〉



〈ヘアキャッチャーの場合〉



● お手入れのしかた

毎日のお手入れは、たまった髪の毛などを取り除き、中性洗剤をつけたスポンジで汚れを落としてください。洗剤を使った後は、水で洗い流してください。

クリンヘアキャッチャー

週に一度のお手入れは、メラミンフォームを使ってください。美しいクリンヘアキャッチャーを保つことができます。

注意 汚れを長時間放置すると、こびりついて落としにくくなります。

2.5. 換気扇

● お手入れのしかた

換気扇のお手入れについては、各商品の取扱説明書をご参照ください。

2.6. 浴槽

● 使用上の注意



禁止

浴槽から勢いよくお湯をあふれさせない。

浴室外に水があふれたり、洗い場排水口のフタが外れて転倒する恐れがあります。



禁止

硫黄系の入浴剤や、硫黄泉からの引き湯、塩分を含む水は使わない。

浴槽表面の変色や、排水金具などにサビが発生する恐れがあります。



禁止

ポップアップ排水栓のスイッチが ON(開)の場合、ポップアップ排水栓の上に乗ったり、手をついたりしない。

故障して水が漏れる恐れがあります。



必ず実行

給湯器の湯量設定を適切に行う。

お湯があふれたり、少なすぎる可能性があります。



必ず実行

水栓から 60℃以上のお湯を給湯する場合は、はじめに必ず水を 5cm 以上ためてから給湯する。

熱湯をいきなり流すと、浴槽の変形・変質の恐れがあります。



必ず実行

一週間に一度以上掃除する。

汚れや細かいゴミなどがたまっていると、浴槽の乾燥性能や滑り止め性能を発揮しにくくなります。

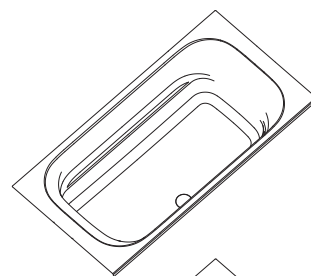
参照

P.16 「足ピタフロア」と同様にお手入れしてください。

● 使い方

ストレートラグーン浴槽

広い浴槽内で、足を伸ばしてゆったりと入浴できます。

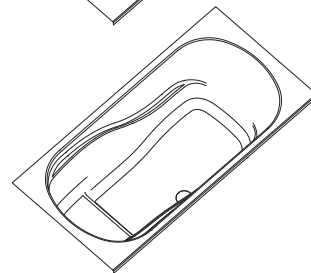


半身浴ラグーン浴槽

広い浴槽内で、節水をしながら半身浴座面の上で足を伸ばしてゆったりと入浴できます。

半身浴座面を滑り止めとして使い、小柄な方でも安定した入浴が可能です。

半身浴座面に座って半身浴をすることもできます。



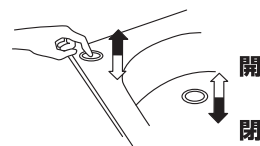
2. システムバスルームの使い方

2.6. 浴槽

● 使い方

ポップアップ排水栓

浴槽の縁についているボタンが、ポップアップ排水栓のスイッチです。スイッチを押すごとに、排水栓が開閉します。



● お手入れのしかた

浴槽

柔らかいスポンジを使用し、浴室用中性洗剤で洗ってください。

ポップアップ排水栓

取り外し方

1. 浴槽の縁についているボタンを押し、排水栓を「開」の状態にする。
2. 排水栓を真上に引き抜く。



〈清掃方法〉

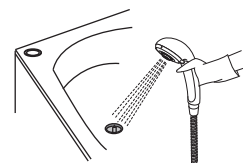
1. 排水口、排水口周りを歯ブラシなどで洗う。
2. 排水口にたまった髪の毛や異物などは、排水栓を外した状態でこまめに取り除く。

注意 排水栓裏側のパッキンに汚れがたまると、十分に止水ができず、お湯が漏れてしまいますので、裏側のパッキンの汚れを落としてください。

取り付け方

1. 軸が上がっている状態にする（軸が上がっていなかったら、浴槽の縁についているスイッチを押す）。
2. 軸と排水栓の中心を合わせ、真下に"カチッ"と音がするまで押し込む。

MEMO ポップアップ排水栓が開閉しにくい場合は、排水口部にシャワーをかけながら、スイッチを繰り返し10回程度押し、内部の汚れを落とすと、動きがスムーズになります。



追い焚きアダプター

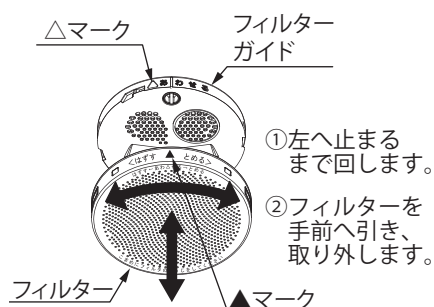
取り外し方

1. フィルターを左へ止まるまで回す。
2. フィルターを手前へ引き、取り外す。
歯ブラシなどを使用し洗ってください。

取り付け方

1. フィルターの▲マークとフィルターガイドの△マークを合わせて、フィルターをはめ込む。
2. フィルターを右へ止まるまで回す。

注意 フィルターガイドは外さないでください。水漏れを起こす恐れがあります。



2.7. 組みフタ・組みフタフック

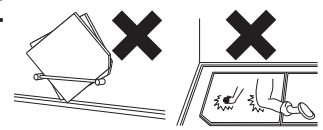
● 使用上の注意



禁止

手やひざをついたり、サポートバーや握りバーに引っ掛けたりしない。

組みフタが破損・変形することがあります。



注意

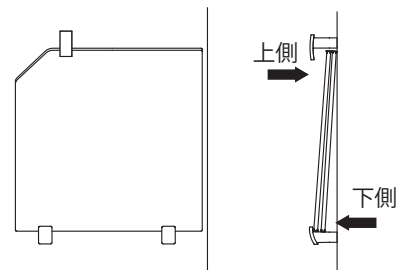
組みフタを収納する際は、フタの上側を壁に寄せるなど取り出す際に倒れてこないように注意する。

落下してケガをする恐れがあります。

● 使い方

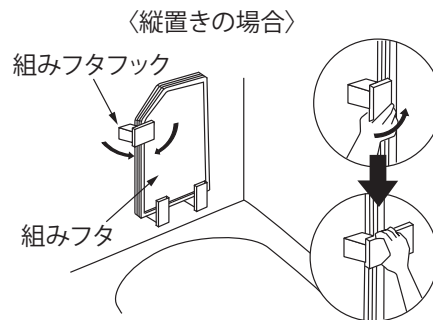
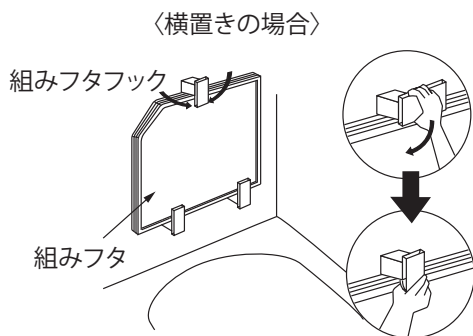
組みフタフック

組みフタを収納する際は、落下してケガをする恐れがあるため、上側は壁側に寄せ、下側はフック先端側に寄せて収納してください。



● 組みフタフックの使い方

1. 組みフタを下側のフックに立てて載せる。
2. 上側のフタフックを回転させて支える。



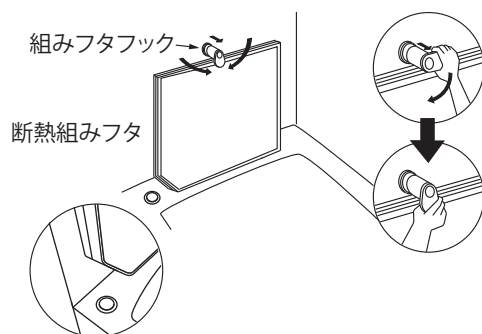
注意 上のフックは、自重では回転しません。必ず上のフックを手で回転させて、組みフタが落ちないことを確認してください。

2.7. 組みフタ・組みフタフック

● 浴槽直置きタイプの場合

1. 断熱組みフタを浴槽の縁に立てて載せる。
2. 上側のフックを回転させて支える。
※ポップアップ排水栓仕様の場合の断熱組みフタの置き方は、下表を参照してください。

注意 置き方を間違えると、ポップアップスイッチの操作ができない場合があります。



● お手入れのしかた

柔らかいスポンジを使用し、浴室用中性洗剤で洗ってください。

2. システムバスルームの使い方

2.8. 浴槽エプロン

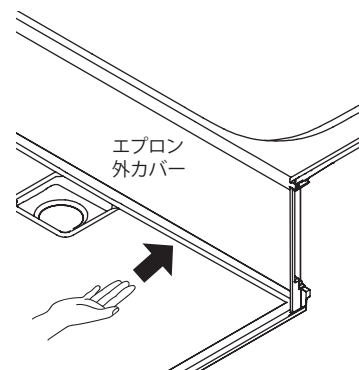
● お手入れのしかた

エプロン外カバー

取り外し方

エプロン下側のすき間に指を差し込み、手前に引いてエプロン外カバーを外す。

※外しにくい場合は、エプロン外カバーを少し上に持ち上げながら手前に引いてください。



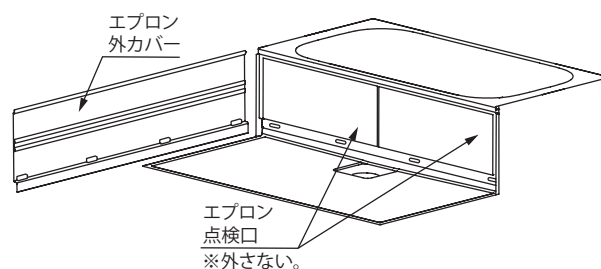
注意

・内エプロンの外周とエプロン点検口は完全に止水される為、浴槽の裏側には洗い場の汚れが侵入しない構造になっております。このため、浴槽の裏側はお客様によるお手入れの必要はありません。

〈浴槽の裏側のお手入れを行う場合〉

・浴槽側フロアを設定しているお客様のみ、エプロン点検口のお客様での取り外しが可能です。取り外す場合は、P.46～47「点検(工事店様向け)」をご確認頂き、作業を行ってください。

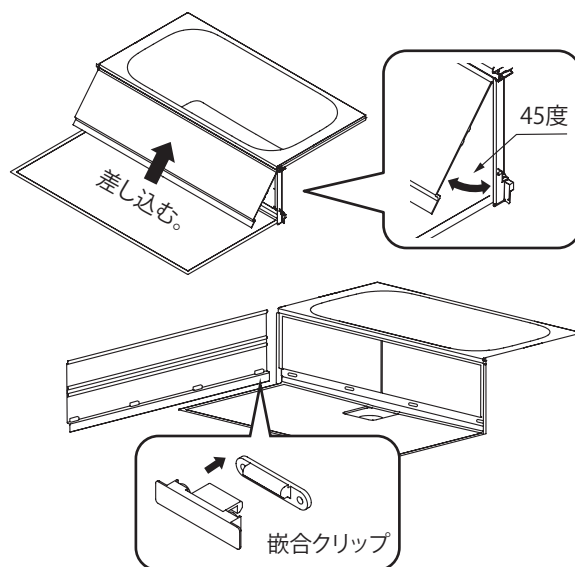
上記の方法でエプロン外カバーを取り外し、柔らかいスポンジを使用して、浴室用中性洗剤で洗ってください。清掃後は必ず元に戻してください。



取り付け方

1. エプロン外カバー上部を右の図のように浴槽に差し込む。

2. エプロン外カバー下部の4カ所の嵌合クリップを、内フタ4カ所の凹部に"カチッ"と音がするまで押し込む。



● お手入れのしかた

柔らかいスポンジを使用し、浴室用中性洗剤で洗ってください。手の届かないところにはペーパーモップなどの柄付きの清掃道具が便利です。洗剤を使った後は、水で洗剤を洗い流してください。壁や天井についている水滴を拭き取ると輪じみや水あかの予防になります。

2.10. ミラー

● 使用上の注意



必ず実行

ミラーの鏡面性を保つために、使用後は水滴を拭き取り、一週間に一度以上は清掃する。

表面についた汚れは、柔らかい布かスポンジを水でぬらし、石けんまたは中性洗剤をつけて洗ってください。それでも落ちにくい汚れは、浴室用のみがき洗い洗剤（推奨：ライオン株式会社「おふろのルックみがき洗い」）などで、やさしくこすってください。洗剤を使った後は、水で洗剤を洗い流してください。※防汚加工仕様の場合は使用できません。

● 使い方

防汚加工

ミラーの表面に特殊加工を施したフィルムを貼り付けることによってカルキなどの汚れが固着しにくくなっています。

注意

- ・汚れの付着を防止するものではありません。
- ・特殊フィルムは、はがさないでください。
- ・カビ取り剤がついた場合は、すぐに洗い流してください。
- ・長く使用しているうちに性能が低下していきますが、普通のミラーとして使用できます。
- ・特殊フィルムの貼り替えはできません。
- ・浴室用のみがき洗い洗剤（ライオン株式会社「おふろのルックみがき洗い」）は使用できません。

くもり止めヒーター

脱衣所にあるくもり止めヒーターのスイッチを入れてから入浴してください。数分でヒーターが温まり、くもりが取れるようになります。入浴後はスイッチを切ってください。

● お手入れのしかた

柔らかいスポンジを使用し、浴室用中性洗剤で洗ってください。洗った後は、洗剤が残らないようにしっかりと洗い流してください。

浴室用中性洗剤で落ちないカルキ汚れがある場合は、放置をせずミラー専用のカルキ落としでお手入れしてください。

注意

ミラー専用のカルキ落としをミラー以外に使用すると、部材を傷める場合がありますので、ミラー以外では使用しないでください。

〈防汚加工仕様の場合〉

- ・カビ取り剤がついた場合は、すぐに洗い流してください。
- ・特殊フィルムにはミラー専用のカルキ落としはご使用になれません。また、研磨材入りの洗剤や、ナイロンタワシなどの硬いものは使用しないでください。特殊フィルムに傷がついて、防汚効果がなくなる恐れがあります。

2.11. 収納棚

使用上の注意



禁止

マグネットシェルフに手をついたり、シャンプーボトルなどを載せたままポンピングしない。

マグネットシェルフの耐荷重は2kgです。手をついたり、ポンピングをするとマグネットシェルフが落下してケガをする恐れがあります。



禁止

マグネットシェルフを壁につけた状態で引きずらない。

マグネットが削れて壁に黒い汚れとして付着します。黒い汚れが付着した場合はすぐに浴室用中性洗剤で洗い流してください。



禁止

マグネットシェルフを壁の継ぎ目に取り付けない。

壁への吸着力が減少し、マグネットシェルフが落下してケガをする恐れがあります。



禁止

マグネットシェルフをドアを開いたときに干渉する位置に取り付け

ない。扉とマグネットシェルフが干渉し、マグネットシェルフが落下してケガをする恐れがあります。



禁止

マグネットシェルフのマグネット部に熱湯をかけない。

壁への吸着力が減少し、マグネットシェルフが落下してケガをする恐れがあります。



注意

スタイルシェルフの棚板を脱着する際に指をはさまないように注意

する。ケガの恐れがあります。



禁止

収納物を置いたまま、棚板などの脱着を行わない。

ケガの恐れがあります。



禁止

マグネットシェルフに、壊れやすい物、刃物などは収納しない。

マグネットシェルフは落下する場合があります。



必ず実行

スタイルシェルフの棚板を取り付ける際は、確実に差し込む。

差し込みが不十分だと、脱落などによるケガの恐れがあります。また、棚板を動かす際に商品の破損の恐れがあります。



必ず実行

収納棚は正しく取り付けで使用する。

収納棚がグロメット・取付座・ブラケットに正しく取り付けられていない状態で使用すると、棚板が落下してケガをする恐れがあります。



必ず実行

取り外した収納棚やブラケットなどを置く際は、フロアや浴槽に直接置かず、タオルなどの柔らかいものを敷く。

傷がつく恐れがあります。また、立て掛けたり、直射日光の当たる場所で保管すると棚板が変形する恐れがあります。



必ず実行

化粧品が収納棚についたときは、拭き取る。

長時間放置すると、収納棚を傷めることがあります。

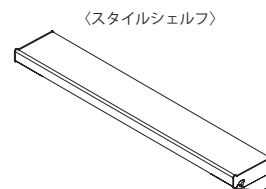
2. システムバスルームの使い方

2.11. 収納棚

使い方

スタイルシェルフ

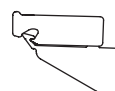
棚板を回転させることで「フラットスタイル」と「水切りスタイル」2通りの収納ができます。お客様のスタイルに合わせてご使用ください。



〈フラットスタイル〉

奥に勾配を設けた棚で、様々な形状のものが置けます。棚の下側にはバーがあり、小物などをフックに掛け、効率的に収納できます。

〈フラットスタイル〉

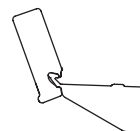


注意 小物類を収納する場合は、奥のすき間から落下したり、はさまったりしないように注意してください。

〈水切りスタイル〉

ボトルなど収納物の底面をバーで受けることで、収納物との接地面積を減らし、水切れが良い収納です。

〈水切りスタイル〉



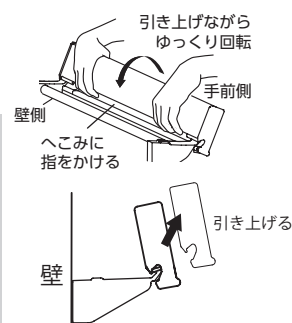
●棚板の外し方・取り付け方

取り外し方

1. 棚板は、水切りスタイルの状態から、へこみに指をかけて持ち、壁側に向かって引き上げながら回転させる。
2. 図の状態で矢印の方向に取り外しできる。

注意

- ・取り外す際は、ゆっくりと慎重に引き抜いてください。力を入れすぎると棚板が勢いよく外れ、転倒してケガをする恐れがあります。
- ・ブラケットは取り外しできません。
- ・棚板を取り外す際は、ミラーやシャワーフックなどの周辺アイテムに十分注意してください。
- ・取り外した棚板を置く際は、フロア・浴槽などに直接置かず、タオルなどの柔らかいものを敷いてください。直接置くとフロア・浴槽などに傷がつく恐れがあります。また、立て掛けたり、直射日光の当たる場所で保管すると棚板が変形する恐れがあります。

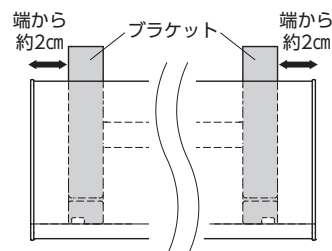


取り付け方

〈スタイルシェルフ〉

収納棚は、右の上面図を参照に、両側のブラケットに均等にかかるよう取り付ける。

MEMO サポートバー用シェルフは樹脂部品どうしの接触ではめているため、棚板やブラケットに削れた樹脂が付着する場合がありますが、品質に問題はなりません。



注意

- ・無理な取り外しや、取り付けた状態で左右にスライドさせると、部品やサイドキャップが削れて部品どうしの組み合わせ部分がゆるくなる恐れがあります。
- ・水栓一体タイプの場合、棚板を水栓に直接当てず、ブラケット突起に合わせてください。水栓や棚板が傷がつく恐れがあります。

マグネットシェルフ

マグネットシェルフは、壁のお好きなところに取り付けてお使いいただけます。

注意

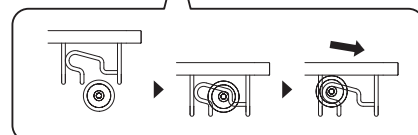
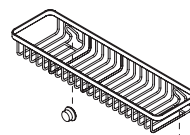
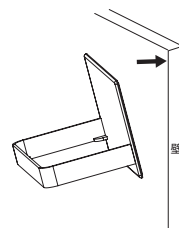
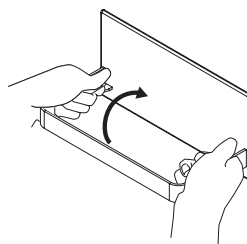
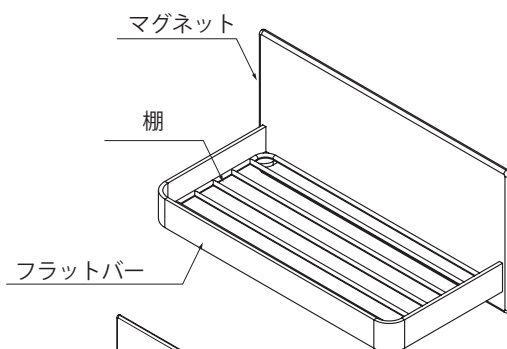
- ・フラットバーの先端にS字フックなどを取り付けて荷重をかけると、マグネットシェルフが落下する恐れがあります。
- ・お手入れの際は、必ずすべてのマグネット製品を取り外してからお手入れしてください。マグネット部に洗剤がかかると、マグネットの保持力低下の原因になります。

取り外し方

両手でフラットバーの手前を持ちながら、図の方向に力を入れて外す。

取り付け方

両手でフラットバーの手前を持ちながら、斜めに傾け、マグネットの下部からゆっくりと壁に貼り付ける。



メタルシェルフ

メタルシェルフは、取り外して掃除することができます。

取り外し方

収納棚をガイドに沿って上に引き抜く。

取り付け方

収納棚を上からグロメットに最後まで差し込む。

サイド収納棚

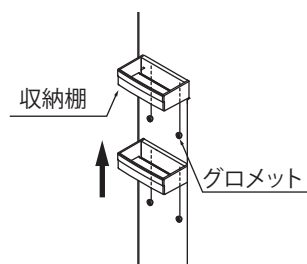
サイド収納棚は、取り外して掃除することができます。

取り外し方

収納棚を上引き抜く。

取り付け方

収納棚を上からグロメットに最後まで差し込む。



手元収納棚

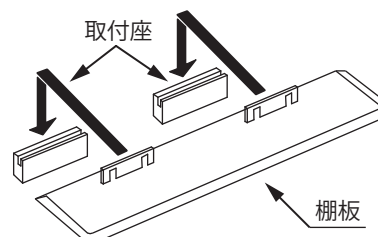
手元収納棚は、取り外して掃除することができます。

取り外し方

棚板を上引き抜く。

取り付け方

棚板を上から取付座に最後まで差し込む。



お手入れのしかた

柔らかいスポンジを使用して、浴室用中性洗剤で洗ってください。

注意

棚板・ブラケットなどの樹脂部品の表面を強くこすると、傷がついたり、光沢がなくなる場合があります。

● 使用上の注意



必ず実行

天板は正しく取り付けて使用する。

天板がブラケットに正しく取り付けられていない状態で使用すると、落下してケガをする恐れがあります。



必ず実行

カウンターの天板を外す際は、必ず収納物を安全なところに移動させてから行う。

天板を外した際に、収納物が落下してケガをする恐れがあります。



必ず実行

天板を外す際は、必ず両手を使う。

片手で外そうとすると、勢いよく外れ、転倒してケガをする恐れがあります。



必ず実行

天板を外す際は、天板を立てかけて保管しないでください。

天板が変形し、ブラケットに取りつかなくなる恐れがあります。



必ず実行

天板の左右位置を調節する際は、必ず天板を外してから行う。

無理に調整しようとする、天板が急に動いて手をはさむなどケガをする恐れがあります。過度な取り外しや、無理な調整により、部品の適切な位置が維持されなくなる恐れがあります。

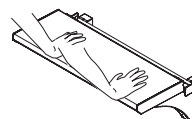


禁止

カウンターはカウンター以外の用途では使用しない。

カウンターは構造上脱着式のため、手をついたり、足をかけたり、乗ったり、座ったりの無理な荷重を加えないでください。ケガをしたり、こわれる恐れがあります。

✕ 天板に手をつかない



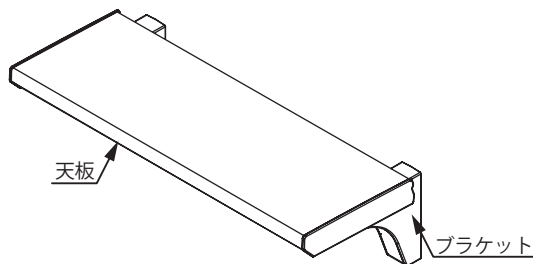
● 使い方

とってもクリンカウンター

とってもクリンカウンターは、清掃時には天板を取り外して裏側まできれいに洗うことができます。天板には洗面器などを置いてお使いいただけます。

MEMO

洗面器の裏面に滑り止め（ゴム）のついたものを使用されますと、より高い滑り止め効果が得られます。



取り外し方

カウンター天板の奥側を片方ずつ外してください。

1. ブラケットに両手の親指を添えて天板を持ち、親指を支点にして力を入れすぎないようにゆっくりと手前に引っ張る。
2. カウンター天板を手前方向に引きながらブラケットから外す。

注意

取り外しの際や、使用時にカウンター天板の奥側を持たないでください。天板が勢いよく外れて、転倒したり、ケガをする恐れがあります。

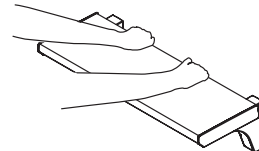
取り付け方

1. 取り付ける際は、カウンター天板の手前側をブラケットの先端にくわえこませる。
この時、カウンター天板が左右対称になるように位置を調整します。
2. カウンター天板の奥側をブラケットの溝に“パチッ”と音が鳴るまで押し込む。

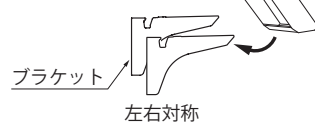
〈取り外し方〉

※収納物がない状態で取り外す

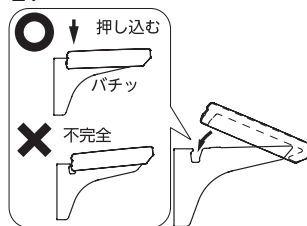
✕ 天板の奥をつかまない

**〈取り付け方〉**

1. カウンター天板



- 2.



● お手入れのしかた

柔らかいスポンジを使用して、浴室用中性洗剤で洗ってください。
それでも落ちない汚れはメラミンフォームでやさしくこすってください。

注意

- ・取り外したとっててもクリンカウンター为天板を置く際は、フロア・浴槽などに直接置かず、タオルなどの柔らかいものを敷いてください。直接置くと、天板やフロア・浴槽などに傷がつく恐れがあります。
- ・また、立て掛けたり、直射日光の当たる場所で保管すると天板が変形する恐れがあります。
- ・とび出したブラケットにぶつけてケガをしないように注意してください。
- ・カウンター天板・ブラケットなどの樹脂部品の表面を強くこすると、傷がついたり、光沢がでる場合があります。

MEMO

とっててもクリンカウンターは樹脂部品どうしの接触ではめているため、カウンター天板やブラケットに削れた樹脂が付着する場合がありますが、品質に問題はなりません。

2. システムバスルームの使い方

2.13. ドア

● 使用上の注意



クレンザーやスポンジの硬い面は使わない。

細かな傷で色が剥がれる恐れがあります。



表面を強くこすりすぎない。

傷がついたり、色をはがれる恐れがあります。



ドアのお手入れをする場合は、シャワーなどの強い水を直接かけない。

ドアから水が漏れる恐れがあります。



ハンドルに無理な力をかけない。

ドアやハンドルが変形・破損する恐れがあります。



樹脂面材、ガラスの表面に傷をつけない。

特に強化ガラスの場合は時間が経過してから自然に割れることがあります。



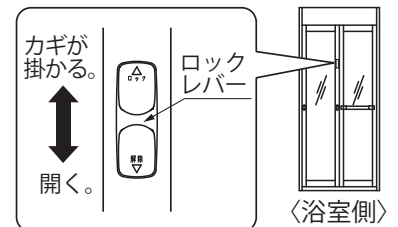
樹脂面材、ガラスに衝撃を与えない。

樹脂面材、ガラスが割れて、ケガをする恐れがあります。

● 使い方 - 折戸 -

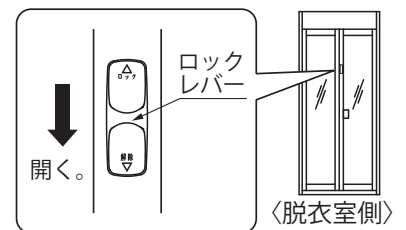
カギの掛け方・開け方

ドアの浴室側についているロックレバーがカギです。
ロックレバーを上げるとカギが掛かり、下げるとカギが開きます。

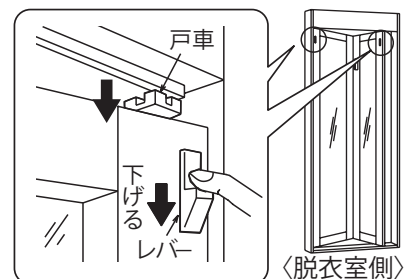


緊急時の脱衣室側からのドアの開け方

- 脱衣室側からカギを開ける場合
ドア外側についているロックレバーがカギです。ロックレバーを下げるとカギが開きます。
- 脱衣室側から扉を脱着する場合
ドアをすべて閉じた状態でドアの上部についているレバー（両端2カ所）を下げ、ドア上部を浴室内に傾けると、ドア枠からドアが外れます。



注意 ドアを外すときは、ドアの落下を防ぐためドア本体を持ったままレバーを下げてください。

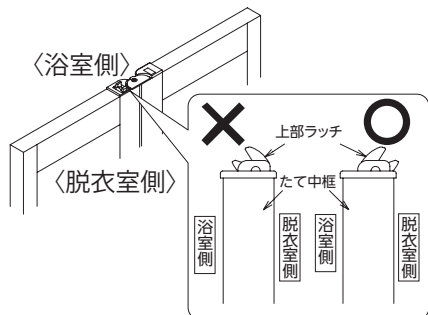


〈ドアのはめ込み〉

ドアをはめ込むときは、次のことを確認してはめ込んでください。

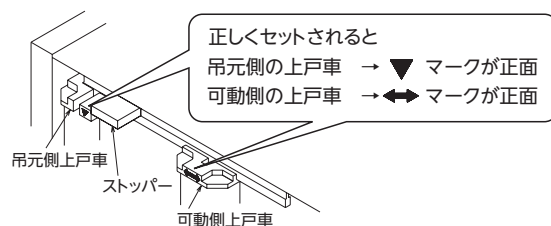
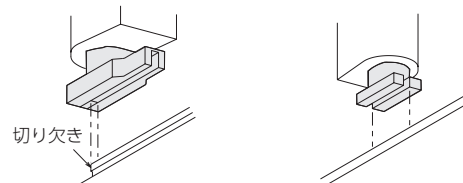
- はめ込む前に、上部ラッチの向きを必ず確認してください。上部ラッチ（つめ部分）が浴室側に向いている場合は、脱衣室側に向きを直してください。浴室側に向いているままはめ込むと、ドアが閉まりきらない場合があります。
- ドア枠の下レールにドアの下部を載せてから、ドア上部の戸車をレールにはめ込んでください。
- 吊元側の戸車はレール端部の切り欠きに必ずはめ込んでください。

注意 緊急時以外、ドア上部のレバーを下げないようにしてください。



吊元側の下戸車

可動側の下戸車



折戸のラッチの調整

● 開閉が重い場合

脱衣室側下部の調整ねじをゆるめてラッチを開閉力が小の方向に調整してください。

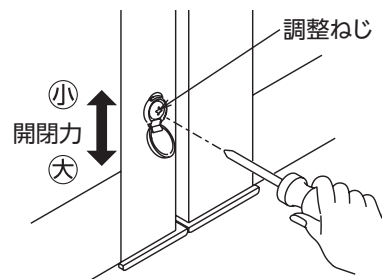
● 開閉が軽い場合

脱衣室側下部の調整ねじをゆるめてラッチを開閉力が大の方向に調整してください。

MEMO 調整ねじにはキャップがついています。キャップを開けて調整を行ってください。

注意

- 折戸のドアを閉める際、強い力で閉めないでください。ドアが開きづらくなる恐れがあります。
- ドアが開きづらいときは、やや上に持ち上げながらドアを開けてください。



● お手入れのしかた - 折戸 -

ドア全体

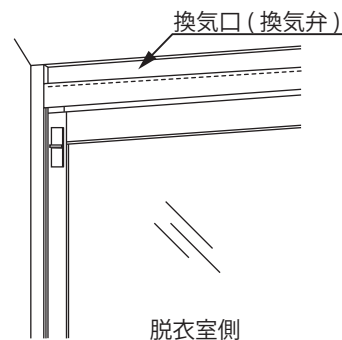
浴室用中性洗剤をつけて洗ってください。
脱衣室側は、硬くしぼった布などで拭いてください。
また、脱衣室側に水がはねた場合はよく拭き取ってください。

換気口

脱衣室側から換気弁を押し開いて、換気弁や上枠内のほこりを取り除いてください。
※綿棒や割箸に布を巻き付けたものを使用して拭き取ってください。

下枠

複雑な形の部分は、歯ブラシなどに浴室用中性洗剤をつけて汚れを取り除いてください。

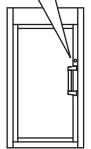
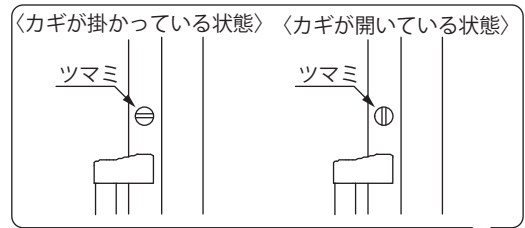


● 使い方 - 開戸・ガラス面材開戸 -

カギの掛け方・開け方

ドアの浴室側の取っ手上部についているツマミがカギです。床と平行になるようにツマミを回すとカギが掛かり、床と垂直になるようにツマミを回すとカギが開きます。

MEMO 脱衣室側のカギはコインロックです。



緊急時の浴室外からのドアの開け方

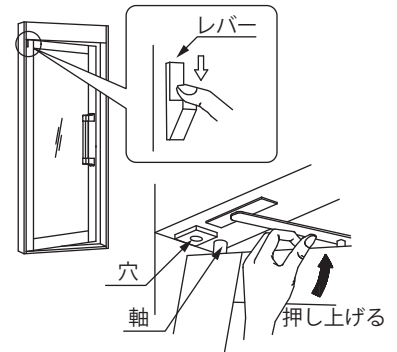
●浴室外からカギを開ける場合

ドアの外側についているコインロックを、床と垂直になるように回します。

●浴室外からドアを脱着する場合

ドアの上部についているレバーを下げてドア枠から外し、ドア上部にあるアームストッパーを上方へ押し上げて、ドア枠から外してください。

注意 ドアを外すときは、ドアの落下を防ぐため取っ手を持ったままレバーを下げてください。
※ガラスドアの場合、ドアの重量に注意して外してください。



〈ドアのはめ込み〉

はめ込むときは、ドア枠の下部の軸にドアの下部を載せ、ドア上部のレバーを下げ、軸を図の穴にはめこんでください。

ドアの開き角度を変更する場合

ドアを全開したときに壁やタオル掛けなどとぶつかる場合、または開き角度を大きくしたい場合は開き角度の調整を行ってください。

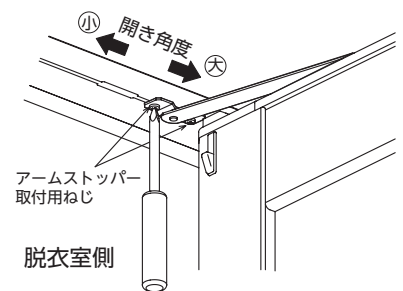
1. アームストッパーの調整

アームストッパーの固定位置をずらして、開き角度を調整してください。

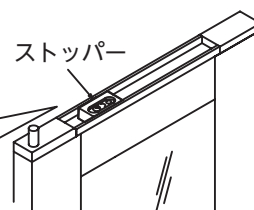
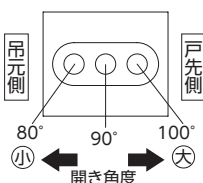
アームストッパー取付用ねじを2個ゆるめて調整してください。

2. ストッパーの調整

ドアの上^{かまち}内部にはストッパーが取り付けられています。ストッパーをずらし、ねじ留め位置を変更することで、開き角度を調整できます。



開き角度を小さくしたい場合は、取付穴位置を吊元側に、大きくしたい場合は取付穴位置を戸先側に変更してください。



注意 ・全ての調整において、調整後は再度ねじをしっかり締めてください。
・緊急時以外、扉上部のツマミを下げないようにしてください。

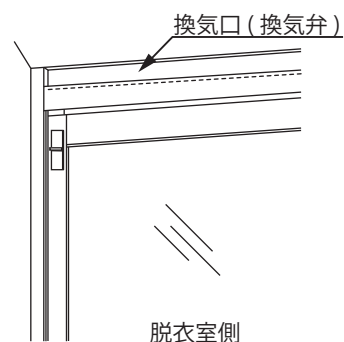
● お手入れのしかた - 開戸・ガラス面材開戸 -

ドア全体

浴室用中性洗剤をつけて洗ってください。
脱衣室側は、硬くしぼった布などで拭いてください。
また、脱衣室側に水がはねた場合はよく拭き取ってください。

換気口

脱衣室側から換気弁を押し開いて、換気弁や上枠内のほこりを取り除いてください。
※綿棒や割箸に布を巻き付けたものを使用して拭き取ってください。



下枠

複雑な形の部分は、歯ブラシなどに浴室用中性洗剤をつけて汚れを取り除いてください。

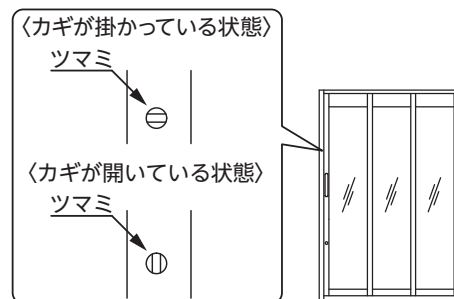
● 使い方 - 片引戸・2枚引戸・3枚引戸 -

カギの掛け方・開け方

ドアの脱衣室側の取っ手上部についているつまみがカギです。つまみが床と平行のときにカギが掛かり、垂直にするとカギが開きます。

緊急時の脱衣室側からのカギの開け方

ドアの脱衣室側の取っ手上部についているつまみがカギです。つまみを垂直にするとカギが開きます。



2. システムバスルームの使い方

2.13. ドア

ドアの取り外し / 取り付け (片引戸)

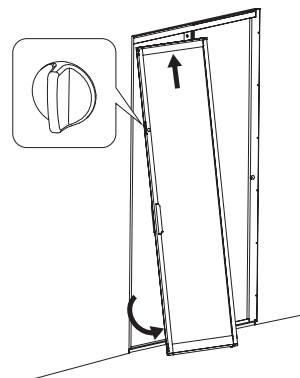
1. 事前準備

ロックを解除してください。

2. ドアを取り外し / 取り付け

- ① ドアを両手で持ち上げます。
 - ② 持ち上げながら、下部分を手前に引いて外してください。
- ※ 取り付けは逆の手順で行ってください。

注意 ドアを取り外し、取り付けは脱衣所側から作業してください。傷や破損の原因になります。



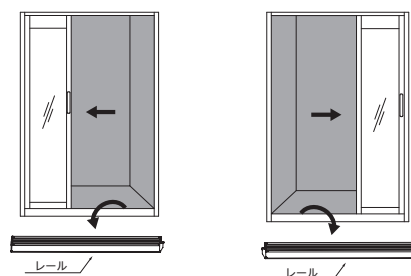
レールの取り外し / 取り付け (3枚引戸)

1. 事前準備

扉を片側に寄せると、開けた側のレールが取り外せますので、扉を取り外す必要はありません。

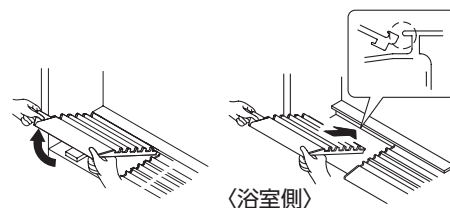
※ 3枚引戸のレールは2枚あります。

注意 レールを外したままドアを開閉させないでください。傷や破損の原因になります。



2. レールの取り外し / 取り付け

浴室内のドア下部のレールは、浴室側から持ち上げて取り外します。取り付けるときは、レールを下枠のヒレにもぐり込ませてからレール受け部品に“カチッ”と音がするまで押し込んでください。髪の毛などをこまめに取り除いてください。



注意 ・レールを取り外す際は、浴室側から持ち上げて外してください。傷や破損の原因になります。
・レールを取り外す際は、手袋などを着用して作業してください。ケガをする恐れがあります。

ドア、レールの取り外し / 取り付け (2枚引戸)

1. 事前準備

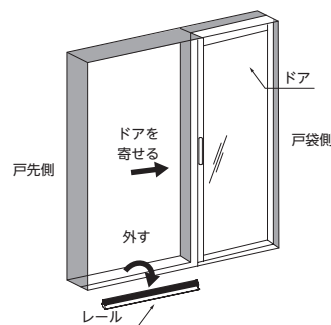
戸先側のレールは扉を戸袋側に寄せ、下枠カバーを外すと外せます。中央、戸袋側のレールは、扉を外してから取り外してください。

※ 2枚引戸のレールは3枚あります。

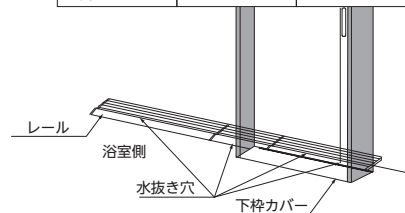
注意 レールを外したまま扉を開閉させないでください。傷や破損の原因になります。

取り外し方 次ページ 2 → 3 → 4 の手順で作業する。

取り付け方 次ページ 4 → 3 → 2 の手順で作業する。



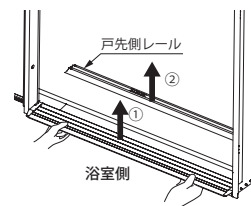
戸袋側 → ドアを開けて外す	中央 → ドアを外して外す	戸先側 (ハンドル側) → ドアを開けて外す
-------------------	------------------	---------------------------



2. 下枠カバーと戸先側レールの取り外し / 取り付け

取り外し方

- ① 下枠カバーの両側に指をかけ持ち上げる。
- ② 戸先側レールの凸部をつまんで外す。

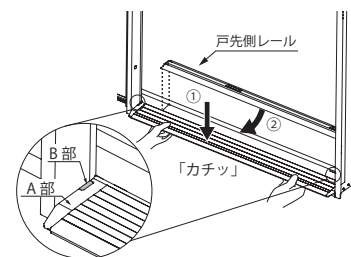


取り付け方

- ① 下枠カバーの A 部を下枠 B 部に合せてはめ込む。
- ② 戸先側のレールは下枠カバーのすき間に差し込む。

注意

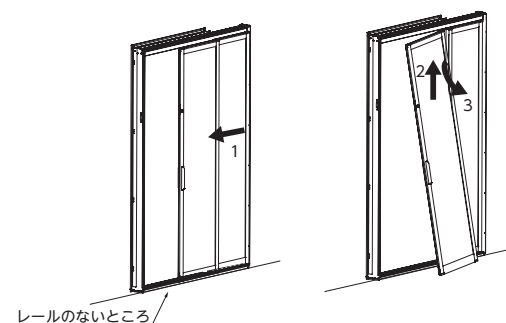
片側だけ持って無理に引っ張ると破損の原因になります。



3. 扉の取り外し / 取り付け

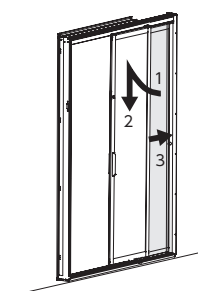
取り外し方

- ① 下枠カバーと戸先側レールを外したら脱衣所側から見て手前側の扉から順番に取り外す。
- ② 扉をスライドさせ、レールから半分外れた位置で上に持ち上げ、手前に引いて取り外す。



取り付け方

- ① 戸袋側レールと中央レールを取り付けてから脱衣室側から見て奥側の扉から順番に取り付ける。
- ② 扉を戸袋側の枠に 3 分の 1 程度重ねあわせ、上レール下レールの順番にはめ、横にスライドさせて取り付ける。全ての扉を取り付けたら開閉して、外れないか確認する。



注意

扉の取り外し、取り付けは脱衣所側から作業してください。傷や破損の原因になります。

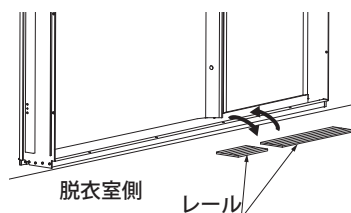
4. 戸袋側レールと中央レールの取り外し / 取り付け

取り外し方

レールの凸部をつまんで外す。

取り付け方

レールの凸部をつまんでドア枠の溝に置く。



2. システムバスルームの使い方

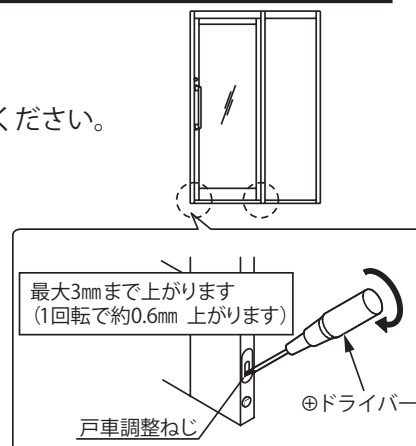
2.13. ドア

調整のしかた - 片引戸・2枚引戸・3枚引戸 -

3枚引戸、片引戸の建て付け調整

ドア下部の、穴の奥にある戸車調整ねじを回して建て付けを調整してください。調整ねじは右へ回すと上がり、左へ回すと下がります。

- 注意**
- 調整後に必ず開閉の確認を行ってください。
 - 電動ドライバーを使用するとねじ頭がつぶれ、戸車調整ができなくなりますので使用しないでください。



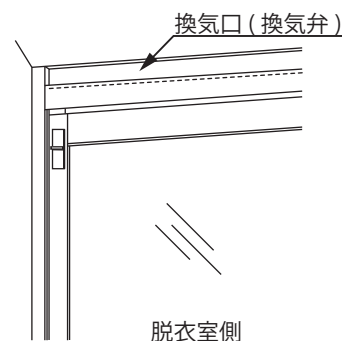
お手入れのしかた - 片引戸・2枚引戸・3枚引戸 -

ドア全体

浴室用中性洗剤をつけて洗ってください。
脱衣室側は、硬くしぼった布などで拭いてください。
また、脱衣室側に水がはねた場合はよく拭き取ってください。

換気口

脱衣室側から換気弁を押し開いて、換気弁や上枠内のほこりを取り除いてください。
綿棒や割箸に布を巻き付けたものを使用して拭き取ってください。



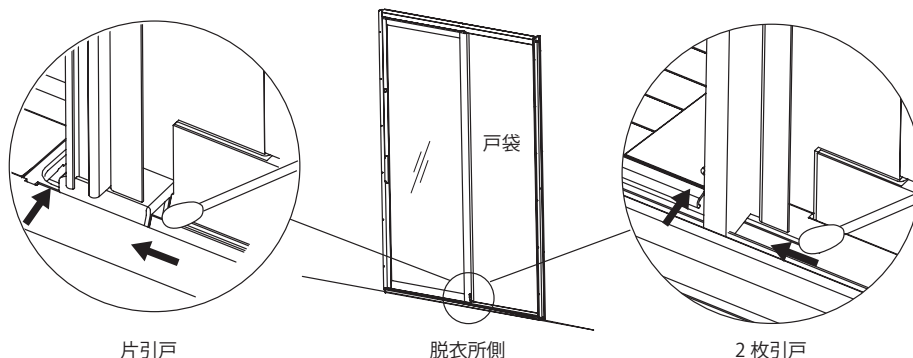
下枠・レール

複雑な形の部分は、歯ブラシなどに浴室用中性洗剤をつけて汚れを取り除いてください。
2枚引戸・3枚引戸の場合、レールを外して汚れやほこりを取り除いてください。

- 注意** レール部に水が入ると、下枠および脱衣室側の戸袋に水が残ることがあります。気になる場合は拭き取ってください。

排水部 (片引戸 / 2枚引戸)

脱衣室側からドアを軽く上に持ち上げ、下側を手前に引くとドアが取り外せます。
綿棒などの細いもので汚れを浴室側へ押し出してください。

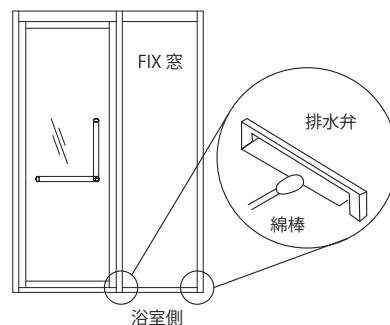


2. システムバスルームの使い方

2.14. FIX 窓

● お手入れのしかた

排水弁を押し開いて、綿棒などで
汚れやホコリを取り除いてください。



2.15. 照明

● 使用上の注意



禁止

照明のカバーを外して使ったり、直接水をかけない。

器具本体が割れてケガをしたり、感電の恐れがあります。



禁止

ダウンライトのカバーを下に押し下げたり、回したりしない。

本体が天井から外れてケガをする恐れがあります。

2. システムバスルームの使い方

2.15. 照明

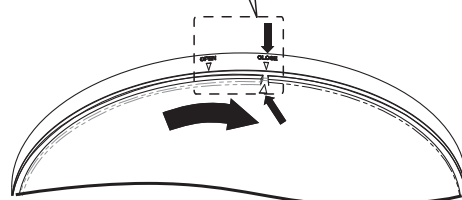
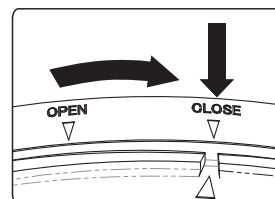
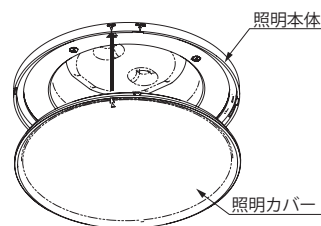


必ず実行

天井付け照明のカバーを取り付ける際は、照明本体と照明カバーに記載の△印を合せて、確実に取り付ける。

照明本体と照明カバーの印を合わせないとカバーがゆるみ、落下してケガをする恐れがあります。

1. 照明スイッチを切る。
2. 乾いた手で照明カバーを側面から持って、左へ回して外す。
3. カバーのお手入れをする。
カバー内の水気は完全に取り除いてください。
4. 照明カバーを取り付ける。
照明カバーを押し当てて、右図のように、照明カバーを右に回転し、照明本体の△印に合わせてください。
取り付け後に、照明カバーにガタつきがないか確認してください。



交換について

照明が点灯しなくなった場合やガタついている場合は、クリナップカスタマーセンタへ修理・交換をご依頼ください。

光源のみの交換はできません。LED が基盤と一体型となっているため、照明器具一式での交換となります。

MEMO LED 光源の寿命は約 40,000 時間です（無償保証期間とは異なります）。

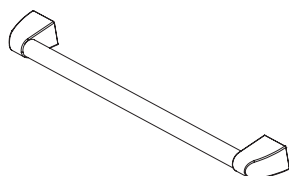
参照：アフターサービスのご用命 裏表紙

お手入れのしかた

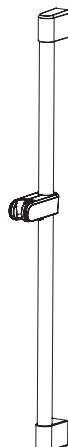
柔らかい布で器具の表面を軽く拭きます。

MEMO 汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布でよくしぼって拭き、洗剤が残らないように水を含ませた布で二度拭きした後、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

〈握りバー〉



〈スライドバー〉



2.16. 握りバー・スライダバー

● 使用上の注意



必ず実行

握りバーを握る際は、しっかりと握っていることを確認してから動き出す。

しっかりと握れていない状態で動き出すと手を滑らせて、転倒やケガをする恐れがあります。



注意

スライダバーにつかまる際は、誤ってシャワーホースをつかまないよう注意する。

転倒してケガをする恐れがあります。



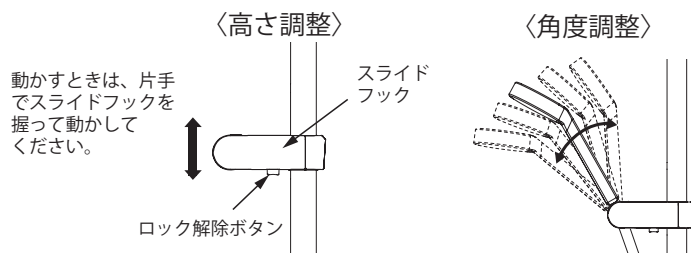
注意

手やバーにシャンプーなどが付着している場合は水で洗い流してから握る。

転倒してケガをする恐れがあります。

● 使い方

握りバーは浴室の出入りや浴室内の立ち座り動作時に体を支えるのに大変便利です。また、スライダバーはシャワーをお好みの高さでお使いいただけます。



注意

スライダバーにつかまる際は、誤ってシャワーホースをつかまないように注意してください。

● お手入れのしかた

柔らかいスポンジを使用して、浴室用中性洗剤で洗ってください。

2. システムバスルームの使い方

2.17. スムーズクッションチェア

● 使用上の注意



座りながら風呂イスを引きずって移動させない。

風呂イスの脚が折れて、転倒しケガをする恐れがあります。



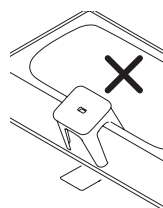
荷重が一か所に集中するように座らない。

荷重が一か所に集中するような座り方をすると風呂イスの脚が折れる恐れがあります。



風呂イスを浴槽に立て掛けて使用しない。

浴槽、エプロンが傷つく恐れがあります。



風呂イスの脚のすべり止めが脱落している状態で使用しない。

フロアが傷つく恐れがあります。



風呂イスを割れたまま使用しない。

破損し、ケガをする恐れがあります。



風呂イスを火気のそばで使用しない。

破損し、ケガをする恐れがあります。



必ず実行

スムーズクッションチェアを持ち上げる際は、イス本体をしっかりと持つ。

クッション座面を持つと、イス本体が落下して、ケガをする恐れがあります。



必ず実行

クッション座面を使用する場合、イス本体と嵌合している事を確認して使用する。

クッション座面がイス本体から滑ってケガをする恐れがあります。



必ず実行

座面に水が溜まった場合、傾けて水を切る。

放置すると、座面が劣化する恐れがあります。



必ず実行

スムーズクッションチェアの座面に石けんなどが付着した場合は、すぐに水で洗い流す。

放置すると、座面の汚れが落ちにくくなる恐れがあります。

● お手入れのしかた

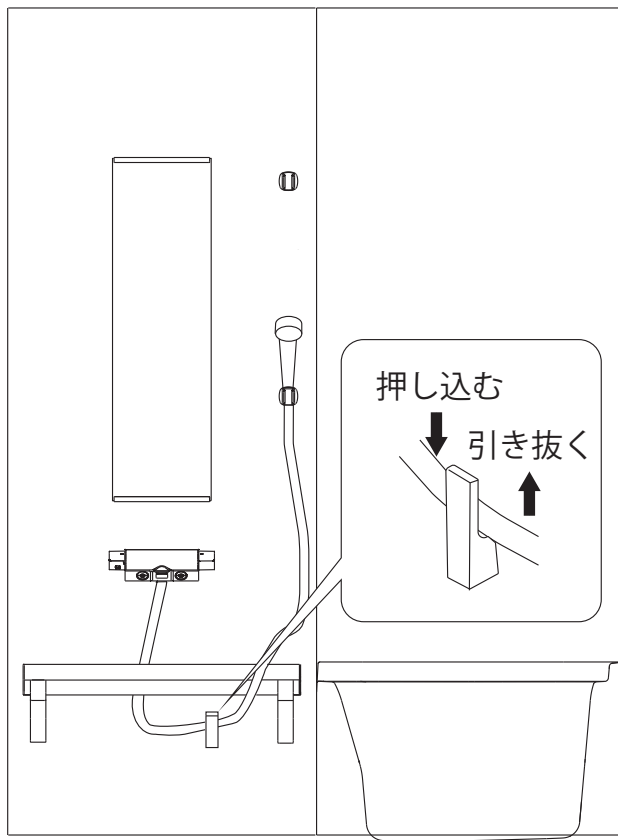
クッション座面を本体から外して柔らかいスポンジを使用して、浴室用中性洗剤でイス本体、クッション座面をそれぞれ洗ってください。

2. システムバスルームの使い方

2.18. シャワーホースフック

● 使い方

シャワーヘッドを下方のシャワーフックに掛けたときなど、シャワーホースが邪魔になる場合にお使いください。



2.19. マグネット製品 (市販品)

● 使い方

- ・市販品のマグネット製品をご使用する場合、マグネット製品の取扱説明書をよく読んでご使用ください。
- ・マグネット製品の着脱は、マグネット製品の取扱説明書に従って正しい方法で行ってください。
- ・着脱の際は、収納物を取り出し、両手で支えながら行ってください。

注意

- ・無理な力をかけると、マグネット製品だけでなく浴室の壁の破損につながる恐れがあります。
- ・お手入れの際は、必ずすべてのマグネット製品を取り外してからお手入れしてください。マグネット部に洗剤がかかると、マグネットの保持力低下の原因になります。

3. アクセサリーパーツのご案内

3.1. アクセサリーパーツのご案内

シャッターフタ



1620/1618/1616 型用
品番 : FA04-16FSNNWTK
サイズ : W154cm × D77cm

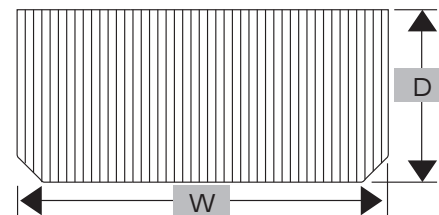


1216 型用
品番 : FA04-12FSNNWTK
サイズ : W110cm × D77cm

1317 型用
品番 : FA04-37FSNNWTK
サイズ : W127cm × D77cm

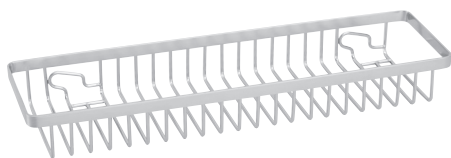
1418 型用
品番 : FA04-48FSNNWTK
サイズ : W137cm × D77cm

◎シャッターフタサイズ



W、D 部分の寸法をご確認ください。
※図は「シャッターフタ」ですが、
他の風呂フタも同様の箇所を
ご確認ください。

交換用メタルシェルフ



交換用メタルシェルフ
品番 : SAP-FA1035MS

ご注文はこちらへ。

クリナップオンラインショッピング <https://style.cleanup.jp/>

クリナップオンライン 🔍



- 商品仕様、価格および諸費用を予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 予告なく廃番・製造中止等により供給できない場合があります。

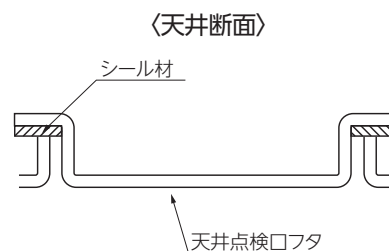
4.1. 点検 (工事店様向け)

天井の点検口は工事店様が点検・修理を行うためのものです。
お客様は、お使いにならないようにお願いします。

天井点検口フタの取り外し方・取り付け方

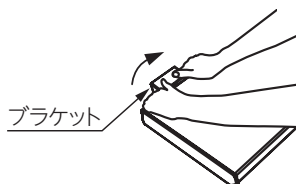
1. 天井点検口フタを持ち上げて横にずらす。
2. 点検を行う。
3. 点検終了後は、元どおりに正しく取り付ける。

注意 天井点検口フタを外して作業する場合、天井に力を加えないでください。割れの原因になります。

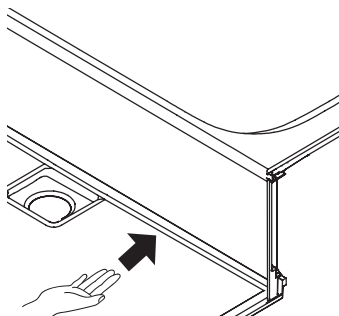


カウンター／浴槽エプロン点検口の取り外し方・取り付け方

1. 作業上必要な場合は、とつてもクリンカウンターの天板を下図のように取り外す。ブラケットに添えた親指を支点にすると外しやすくなります。このとき、力を入れすぎないように慎重に行ってください。



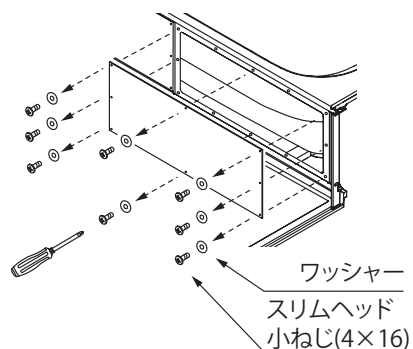
2. エプロン外カバー下側付近のすき間に指を差し込み、手前に引いてエプロン外カバーを外す。外しにくい場合は、エプロン外カバーを少し上に持ち上げながら手前に引いてください。



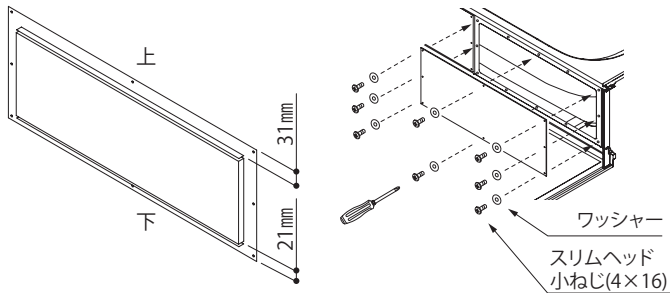
3. 手回しドライバーを使用して、スリムヘッド小ねじとワッシャーを外す。
※スリムヘッド小ねじとワッシャーはなくさないでください。

注意

- ・お客様自身で取り外す場合は、浴槽側フロアを設定しているお客様のみ可能です。
- ※浴槽に設置してある、追い焚きアダプターやジェットバスの配管はいじらないでください。
- ・浴槽側フロアを設定していない場合は、工事店様にて、点検口の取り外しをご対応お願い致します。

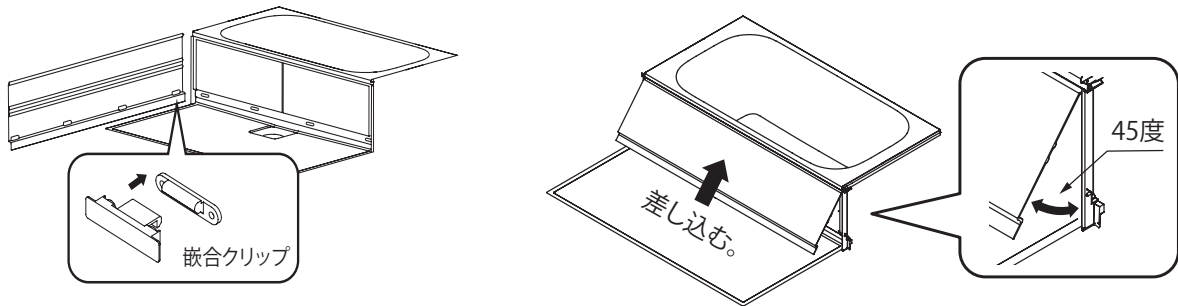


4. エプロン点検口の上下の向きに注意して、スリムヘッド小ねじとワッシャーを手回しドライバーを使用して確実に取り付ける。
 ※取り付けねじは締めすぎないように注意してください。

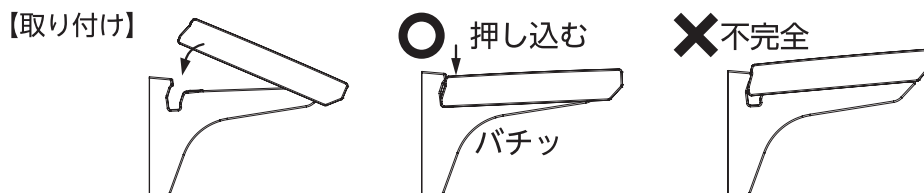


注意 点検口の取り付けがずれていたり、点検口が緩んでいると、水漏れする恐れがあります。

5. 外フタの4カ所の嵌合クリップを、内フタ4カ所の凹部に差し込む。

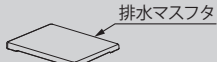
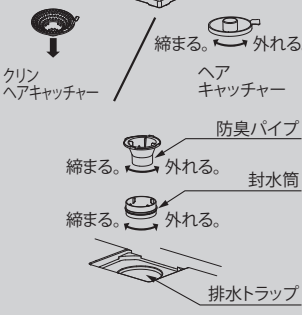


6. とってもクリンカウンターの天板を取り付ける際は、天板の手前側をブラケットの先端にくわえてませた後、奥側が「パチッ」と音が鳴るまで、上からゆっくりと押し込む。
 ※カウンター天板が正しく取り付けられていることを確認してください。



4.2. 主な故障の確認

次のような症状の場合は、まず、指定の対応をして、故障かどうかご確認ください。

	こんなとき	症状や原因	対応方法	参照頁
浴室全体	ピシッ、ピシッという音がする。	浴室内の使用条件（温度など）の変化により、膨張した部品（床・壁・天井など）どうしがこすれている。	異常ではありません。	—
	水栓の水の出が悪い。	流量調節ねじ、もしくは止水弁が締まっている。	専用の取扱説明書を参考にしてください。	—
水栓金具	水栓の温度調節の具合が悪い。	ストレーナーにゴミなどがたまっている。		—
	洗い場側水栓からの吐水量が少なくなる。	水栓を同時に使用しているため、洗い場側水栓への流量が少なくなる。		—
	シャワーから水垂れがする。	シャワーヘッド内部の残留水が排出されている。		—
	水栓から水漏れする。	パッキンが消耗している。		お買い求めの販売店、または裏表紙のクリナップカスタマーセンターまでお問い合わせください。
浴槽	浴槽に水がたまらない。	ポップアップ排水栓にゴミなどがはさまっている。また、ゴム排水栓が消耗している。	ゴミなどを取り除き、ポップアップ排水栓をしっかりと閉めてください。それでも直らない場合は、お買い求めの販売店、または裏表紙のクリナップカスタマーセンターまでお問い合わせください。	22 52
排水口	洗い場側の排水口の水の流れが悪い。	排水口にゴミがたまっている。 	排水マスフタまたはヘアキャッチャー・排水トラップのゴミを取り除いてください。	17 18
	浴槽の排水の流れが悪い。		ポップアップ排水栓、またはゴム栓を取ってゴミを取り除いてください。洗い場の排水マスフタまたはヘアキャッチャー・排水トラップのゴミを取り除いてください。それでも直らない場合は、お買い求めの販売店、または裏表紙のクリナップカスタマーセンターまでお問い合わせください。	17 18 52
壁・天井	電源スイッチを入れても照明がつかない。	ダウンライト（LED）が点灯しなくなった。	お買い求めの販売店、または裏表紙のクリナップカスタマーセンターまでお問い合わせください。	39 40 52
	換気扇から異常な音がする。	グリルにほこりなどがついている。	グリルを取り外し、掃除してください。	19
カウンター	天板とブラケットの接触部が削れる。	樹脂が削れて付着している。	異常ではありません。	—

4. こんなときは

4.3. 仕様一覧

標準仕様

本 体	フロア	基材：FRP
	浴槽	人工大理石(アクリルコート) / FRP
	エプロン外カバー	表層：フッ素加工PVC素材 基材：ABS樹脂
	内エプロン	本体：FRP樹脂 点検口：PVC 断熱材：発泡PS
	壁パネル	亜鉛鋼板複合板(サンドイッチパネル)
	ミラー	防湿鏡
	とっもクリンカウンター	表層：ASA樹脂 基材：ABS樹脂
	天井	亜鉛鋼板複合板(サンドイッチパネル) 断熱材：発泡PS
	ドア	アルミ型材/ガラス材
	ドア枠	アルミ型材
	握りバー	芯材：アルミ 表面材：ASA樹脂
	設 備 品	照明(天井付け照明)
水栓		壁出し式シャワー付サーモ水栓
換気扇		フロントパネル：ABS樹脂 本体：PP樹脂
断熱組みフタ (SG規格品)		表面：PP樹脂 滑り止め：TPO樹脂 本体：PS樹脂

※この表は、本体の標準仕様のもので、
組み合わせや部品の注文によっては、ご使用の商品と異なる場合があります。

その他アイテム

本 体	スタイルシェルフ	機材：ABS樹脂 表面材：ASA樹脂
	サイド収納棚	AS樹脂
	手元収納棚	AS樹脂
	メタルシェルフ	SUS304
	マグネットシェルフ	SUS304
	スライドバー	本体：ステンレス 台座カバー：ABS樹脂
スムーズクッションチェア	本体：PP樹脂 座面：EVA 滑り止め：LDPE	

浴槽

		1620型 1616型 1618型	1717型	1418型	1317型	1216型	
性 能	浴槽 満水量	ストレートラグーン浴槽	約 315 ℓ	約 329 ℓ	約 313 ℓ	約 294 ℓ	約 254 ℓ
		半身浴ラグーン浴槽	約 285 ℓ	—	—	—	—
	浴槽 深さ	ストレートラグーン浴槽	約 47cm				
		半身浴ラグーン浴槽	約 47cm				
排水 時間	ストレートラグーン浴槽	約 6 分 20秒	約 6 分 30秒	約 6 分 10秒	約 5 分 50秒	約 5 分 00秒	
	半身浴ラグーン浴槽	約 5 分 40秒	—	—	—	—	

4

こんなときは

保証書

◎ SBR用

シリーズ・品番	ラクヴィア	出張修理	
保証期間	取付・設置日から2年間 ただし防水性能*は取付・設置日から5年間 *防水性能とは「壁、床から浴室外部への漏水を防ぐ機能」をいいます。	★取付・設置日	年 月 日
★お客様	ご住所	見本 ()	
	お名前		
★販売店	住所 店名	TEL ()	◎印 またはサイン

無料修理規定

ご販売店様へ 上記★印欄は必ず記入してお渡してください。

★印欄に記入がない場合は、商品に貼付されている検査済証に記載のロットNo.などから確認できる製造年月日により、保証期間の開始日を認定させていただきます。

本保証書は、取付・設置日から本保証書に明示した期間中故障が発生した場合には、無料修理規定の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

保証期間中は無料修理になりますので、修理に際しては必ず本保証書をご提示ください。

2. 修理が保証期間中の無料修理に該当するかどうか、また、アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。

3. ご転居の場合の修理依頼先は、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。

4. 保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。

- (1) 使用上の故意・過失または不適切な修理や改造による故障および損傷。
- (2) 消耗部品(照明の管球、パッキンなど)の取り替えや修理、ストレーナーのゴミづまりなどによる故障および損傷。
- (3) お買い上げ後の取付・設置場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
- (4) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)による故障および損傷。
- (5) 車両、船舶などに取付・設置された場合に生じる故障および損傷。
- (6) 仕上げの傷などで、お引き渡し時に申し出がなかったもの。
- (7) 瑕疵によらない自然の損耗、サビ、カビ、変質、変色、その他類似の事由による場合。
- (8) 異常電圧や指定外の燃料・電源(電圧、周波数)の使用および異常水質による故障および損傷。
- (9) 凍結による破損。
- (10) 維持管理の不備による汚れ、サビ、給水管、排水管のつまりなどの不具合。
- (11) 第三者による管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合。
- (12) 犬、猫、鳥、鼠などの小動物や虫などの害に起因する故障および損傷。
- (13) 取付・設置説明書に記載された方法以外の取付・設置、または工事内容に起因する故障および損傷。
- (14) 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)など商品以外の不具合に起因する故障および損傷。
- (15) 契約時、実用化されていた技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合。
- (16) 一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障および損傷。
- (17) 苛性ソーダや強塩酸などの強い薬品を使用した場合の損傷。
- (18) 硫黄やアルカリ分を含む入浴剤、温泉などの水質による浴槽表面および金具類の損傷。
- (19) 取付・設置完了後、引き渡し日までの間の管理などの不備による故障および損傷。
- (20) 保証期間経過後に申し出があった、もしくは、保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかった故障および損傷。
- (21) 本保証書のご提示がない場合。
- (22) 本保証書に取付・設置年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合(領収書などで左記内容がわかる場合はその限りではありません)、あるいは字句を書き換えられた場合。
- (23) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費。

5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

6. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※お客様にご記入いただいた個人情報、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※本保証書は、明示した期間、条件の基において無料修理をお約束するものです。

したがって、本保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※修理記録(年月日、修理内容、修理者名など)については、修理の際に修理伝票をお渡しいたしますので、大切に保管してください。

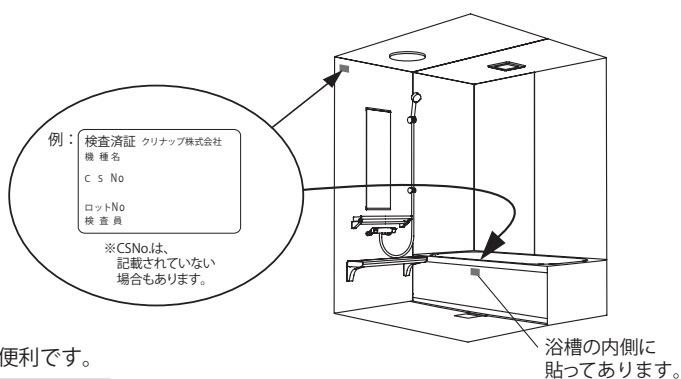
ご相談窓口： クリナップカスタマーセンター TEL 0120-126-174

クリナップ株式会社

〒116-8587 東京都荒川区西日暮里 6-22-22

修理の依頼について

この取扱説明書をよくお読みのうえ、再度点検してください。異常があるときは、工事店・販売店、または下記のクリナップカスタマーセンターまでご依頼ください。また連絡する際は、お名前、ご住所、お電話番号、ご購入年月日、症状および検査済証の機種名・CSNo.・ロットNo.もあわせてお知らせください。検査済証の取付位置は、浴室の入口位置によって異なります。下図を参照し、取付位置を確認してください。



《お客様メモ》アフターサービスのご連絡に便利です。

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	☎

廃棄処分のしかた

この商品を廃棄処分する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

アフターサービスのご用命

- ご使用にあたってご不明な点や、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または下記クリナップカスタマーセンターまでお問い合わせください。

- お電話でのご用命

0120-126-174

クリナップカスタマーセンター

通話料
無料

- インターネット窓口(クリナップホームページ内)

<https://cleanup.jp/support/>

右の2次元コードで【お客様サポートサイト】へ



受付時間 9:00~17:00

- *9:00~11:00および12:00~13:00は混みあいます。
- *年末年始はお休みさせていただきます。
- *諸般の事情により営業日、受付時間が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- *インターネット窓口では、Q&A(よくあるご質問)をご紹介します。
- 修理、お問い合わせは専用ページでも受付しております。

お電話は、内容の確認と商品機能やサービスの質の向上などを目的として、記録・録音させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。なお、個人情報保護方針は<https://cleanup.jp/>に公表しております。

レンジフードフィルターなどの 訪問販売に関するご注意

クリナップの名前をかたって、レンジフードの交換用フィルターなどを訪問販売したり、電話で注文を取ろうとする業者がありますが、当社とは一切関係ございませんので十分ご注意ください。

クリナップ株式会社

〒116-8587 東京都荒川区西日暮里 6-22-22